

2022 年度

日本学生オリエンテーリング選手権大会

スプリント、ロング・ディスタンス競技部門

要項 3.1 (プログラム)



要項 3.0 からの変更点を
黄色マーカーで表記

期 日	2022年(令和4年) 11月5日(土)~11月6日(日)
開 催 地	長野県諏訪郡富士見町
競技会場	富士見高原リゾート
主 催	日本学生オリエンテーリング連盟
主 管	2022年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロング・ディスタンス競技部門実行委員会 スプリント競技部門実行委員会
共 催	一般社団法人大学スポーツ協会 (令和4年度スポーツ庁補助事業)
後 援	富士見町 公益社団法人日本オリエンテーリング協会 長野県オリエンテーリング協会
協 賛	O-Support 株式会社ニチレイ 有限会社ヤマカワオーエンタープライズ 株式会社フォルテ 一般社団法人奥三河アウトドア協会

目次

歓迎の言葉・ご挨拶

Page 3 - 5

1

はじめに

Page 6

- 1.1 開催内容
- 1.2 略称、呼称
- 1.3 用語説明

2

タイムテーブル

Page 7 - 8

- 2.1 11月5日（土）スプリント競技部門
- 2.2 11月6日（日）ロング・ディスタンス競技部門

3

大会全般

Page 9 - 15

- 3.1 主管の連絡先
- 3.2 大会公式Webサイト
- 3.3 立入禁止区域
- 3.4 トレーニングトレイン・モデルイベント
- 3.5 受付
- 3.6 選手変更申請
- 3.7 欠場連絡
- 3.8 観戦
- 3.9 大会適用規則
- 3.10 過去の気象情報
- 3.11 傷害保険
- 3.12 忘れ物
- 3.13 地図販売
- 3.14 大会中止時の対応
- 3.15 新型コロナウイルス感染症予防に関する注意事項
- 3.16 その他の注意事項

4

会場へのアクセス

Page 16 - 21

- 4.1 会場所在地
- 4.2 アクセスマップ
- 4.3 車・チャーターバスでの来場
- 4.4 公共交通機関での来場
- 4.5 幹旋宿について

5

競技情報

Page 22 - 27

- 5.1 競技形式
- 5.2 地図仕様
- 5.3 コントロール位置説明表

5.4 コース概要・競技時間

5.5 テレインの概要

5.6 コースプロフィール

5.7 公式掲示板

5.8 テクニカルミーティング

5.9 テレイン・コースの注意事項

5.10 服装および所持品

5.11 GPSトラッキング

5.12 ナンバーカード

5.13 パンチングシステム

5.14 給水所・救護所

5.15 調査依頼・提訴

5.16 ドーピング検査

5.17 シード選手

5.18 使用テープ一覧

6

スプリント競技詳細

Page 28 - 33

6.1 当日の流れ

6.2 会場

6.3 スタート待機所[選手権の部のみ]

6.4 スタート地区までの移動

6.5 スタート地区

6.6 遅刻スタート

6.7 競技時間

6.8 現地情報

6.9 フィニッシュ

6.10 弁当配布

6.11 表彰式

6.12 エキシビジョンレース

7

ロング・ディスタンス競技詳細

Page 34 - 39

7.1 当日の流れ

7.2 会場

7.3 スタート待機所へのバス輸送[選手権の部のみ]

7.4 スタート待機所[選手権の部のみ]

7.5 スタート地区までの移動

7.6 スタート地区

7.7 遅刻スタート

7.8 競技時間

7.9 フィニッシュ

7.10 弁当配布

7.11 表彰式・閉会式

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

8

Page 40

チームオフィシャルリスト

9

Page 41

大会役員

日本学生オリエンテーリング選手権
実施規則

Page 42 - 48

歴代入賞者紹介

Page 49 - 56

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



歓迎の言葉・ご挨拶

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

富士見町長
名取 重治



2022年度日本学生オリエンテーリング選手権大会が、富士見町において盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました参加選手及び関係者の皆様を心から歓迎申し上げます。

競技会場となります富士見町は、東京、名古屋から、いずれも2時間程度で訪れることができるという利便性の良さから、標高1300メートルの天空のリゾート富士見高原、自然豊かな入笠山や入笠湿原を有するパノラマリゾートの二大リゾートを中心に、夏はトレッキングや登山、マウンテンバイク、スポーツ合宿に、冬はスキー、スノートレッキング、スノーボードと、年間を通して多くの方に楽しんでいただいております。また、国の遺跡に指定されている「井戸尻遺跡」や国の重要文化財に指定された「藤内遺跡の出土品」など、縄文時代の遺跡も多く、先頃、日本遺産の指定もされた地域です。本大会に参加される選手の皆様におかれましては、雄大なハケ岳山麓に広がる富士見高原で、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、競技を通じて参加者相互の親睦と交流の輪を一層深められますことをご期待申し上げますとともに、豊かな自然を存分に満喫され、素晴らしい思い出を作ることができますことを心から願っております。

結びに、感染症対策を講じながら、大会開催にあたりご尽力いただいた日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会をはじめ、関係各位に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功とオリエンテーリング競技のますますの御発展を祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

日本学生オリエンテーリング連盟会長
河合 利幸



ハケ岳山麓でのインカレは、2015年の秋以来2回目となります。当地は良質なトレインに恵まれ、これまで数多くの大会が開催されてきました。また、コロナ禍前は、合宿地としても多くの大学で親しまれてきたエリアでした。ですが、なぜかインカレはこの回のみ。とはいうものの、スプリントが正式種目となり、秋インカレがロングとの2日間制となったのはこの回から。今回は、そのスプリントとロング男子選手権を1年生で制した稲森氏がコースセットを行うということも話題のひとつでしょう。

ロングのトレインは、2015年とは異なり、コロナ禍の中行われた2020年全日本ロングのトレインと同様のエリアとなるようで、片斜面なのは変わりませんが、傾斜は急で、タフでかつテクニカルなレースとなりそうです。

スプリントについては、2015年と同様なエリアとなるようですが、ロングと同じ会場で実施できる、日本では数少ないトレインです。これはすなわちスプリントの実施困難さにつながるものであり、採算の問題も含め、これまでも様々な議論が行われてきました。もしかすると、ロングとの2日間制は今回が最後となる可能性もあります。

秋インカレとしては3年ぶりに併設大会も開催されることになっていますが、2015年のときも、それまでおまけレベルだった併設大会がJOA公認大会となり、因果を感じるとともに、コロナ禍の憂さを晴らそうという運営陣の意気込みがうかがえます。

秋にロングが開催されるようになってからこれまで、2015年大会は最大の参加者数を集めた大会でした。コロナ禍の第7波が落ち着きを見せているこの時期、これまで参加したくてもできなかった大学や、様々な事情で参加を見合わせていた学生の多くが戻ってきてくれることを期待しています。各大学とも、困難な状況の中、

いろいろな工夫をして新入生を集め、育ててくれているようで、実に頼もしいです。OB や OG も併設大会や応援に駆けつけてくれることでしょうか。選手の皆さん、特に1年生の皆さんは、目の前のレースを存分に楽しんでください。それが大会準備の苦勞に報いることになります。

最後になりましたが、多忙な日々の合間を縫って準備を進めていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、ご苦勞様でした。富士見高原リゾート、富士見町をはじめとする地元関係者の皆様には、様々な面でご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長
浴本悠貴



今、インカレのあり方は大きく変わりつつあります。新型コロナウイルスの影響により、声を上げての声援が禁止されたり、大学の規制によりインカレに出場できない大学が存在したりしました。また、日本学連より告知しましたが、運営負荷の上昇やテレインの制約により、秋にインカレスプリントロング・春にインカレミドルリレーという開催形態は、近い将来変わります。まだ、開催形態がどうなるかは決まっておりませんが、学生1人1人のご意見を聞きながら、今後のインカレのあり方について進めていきたいと思っています。

しかし、インカレの開催形態がどうなるうとも変わらないことがあります。それは、インカレが学生オリエンテーリング界において、最も盛り上がるイベントであるということです。1年生の時に初めて秋インカレに参加して、まず、たくさんの学生がオリエンテーリングをしていることに驚きました。そして、各大学の応援の熱に感動し、選手権クラスにて全力でビジュアルを駆け抜ける先輩の姿を見て、自分もインカレエリートになりたいと強く憧れました。インカレに対してわくわくする気持ちは今も昔も変わっておりません。

ただ、インカレというものは当たり前のように存在するものではありません。私は、インカレが開催されるためには主に3つの要素が必要であると思っています。1つ目が、インカレに限らず、オリエンテーリング全般に言えることですが、開催地である地元の皆様のご理解やご協力です。オリエンテーリングというスポーツが、全国各地でご理解をいただいた上で行うことができていることを忘れてはいけません。2つ目が、インカレを運営して下さる OBOG さんです。かつてインカレに選手として参加し、熱い闘いを繰り広げてきた方々が卒業後もインカレ運営に携ってくれるからこそ、こうしてインカレが今なお重要な大会として位置づけられているのだと思います。3つ目が、私たち学生の熱い思いです。インカレは学生日本一を決める大会であり、学生が主役となる大会です。学生1人1人がインカレ当日、自分にとってのベストレースをして、「インカレに参加して良かった！」と思えることを願っております。

最後になりましたが、長野県富士見町の皆様、インカレ実行委員会の方々を始め、今大会の開催に向けて尽力して下さった全ての皆様に学生を代表して厚く御礼申し上げます。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



ここ最近暑かったり寒かったりと目まぐるしい天気となっており、秋はどこに行ってしまったのかと思うことが多々あります。

そんな中、今年度もインカレスプリント・ロングの季節がやってきました。私が入学した2017年には当たり前となっていたスプリント部門ですがインカレスプリントが始まってから今年で8年目となりました。今大会の開催地である富士見高原リゾートは2015年に初めてインカレスプリントが開催された場所です。そんな場所でインカレを開催できることを喜ばしく思います。

今年はインカレスプリント・ロングとしては3大会ぶりに併設大会もあるため徐々にコロナ禍前のインカレに戻つつあるのかなと感じています。

さて、この要項も発行され11月5～6日の大会当日に向けて着々と準備を進めています。

その中で学生の皆さんに知ってほしいことは、インカレは必ずしも開催できるとは限らないという事です。私が学生だった2019、2020年度の春インカレは新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となってしまいました。2020年度に関しては初めて選手権クラスに出場予定でしたがそれは叶いませんでした。この時、開催された2018、2017年にもっと頑張っておけばよかったという後悔がありました。そのため学生の皆さんには一つ一つのインカレに全力で挑んでいただきたいです。私たち実行委員会も努力し準備を重ね、大会当日に現地でお会いできるのを楽しみにしております。

最後に今大会の運営を通して改めて多くの人に支えられながら大会開催に向けて準備していることを知ることができました。大会運営者をはじめ、富士見高原リゾート様や富士見町の皆様また渉外を一手に担っていた木村氏、インカレ開催に向け動いてくださっている全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。

素晴らしいインカレとなることを願い、ご挨拶とさせていただきます。



ロングが好きです。King of Orienteering の呼び名にふさわしく、心技体の全てが極限まで試されるロングは最もオリエンテーリングらしい種目と言えます。ロングレースには必ず、走った人にしかわからないドラマがあります。あらゆる課題を乗り越え、一レグずつ丁寧に紡ぎゴールを目指す。長い旅の途上では、さまざまな競技者との出会いと別れが経験されます。一期一会の偶然性こそオリエンテーリングの醍醐味であり、それを最も深く味わえるのがロングです。長い旅路を終えた先に、いったいどんな景色が待っているのか。ぜひ大会当日は、みんさん自分だけの物語ご堪能ください。

インカレの主役は選手権。そんな言葉を耳にすることがあります。その名の通り、インカレは学生日本一を決める場です。選手たちはこの日に向けて懸命に努力し、悩み、それでもトレーニングを重ね、当日の朝を迎えます。レースが始まると、選ばれしエリートたちは、ひっそりとした特別な森を、練り上げられたコースを、はるか遠く仲間が待つゴール目指してひた走ります。会場には声を枯らして応援する人々。死闘を終えた選手は結果に一喜一憂し、互いを讃えあい、エリートでなかった人たちはその勇姿を見て次のセレクションの通過を誓う。インカレは選手権を中心に回っており、選手権こそが主役なんだと、そう言われるのもわかります。

今年の大会は、隅々まで眺めてみようかなと思っていました。運営側にまわって気づいたのは、インカレは小さな物語の集合体だということ。インカレに関わる人々——選手権はもちろん、一般クラスも、1年生も、併設も、運営者も、一人一人にその人しかわからないドラマがあって、それらが集まって一つの「インカレ」という大きな物語が形作られていく。小さな物語の中には、きっとネガティブなものもあるでしょう。陽の光あたる選手もいれば、日陰で大会を過ごす選手もいます。彼らの不満足、不完全燃焼も含めてインカレ。今年は端っこの小さなドラマにこそ注目して、大会の隅々まで味わってやろうと思います。

最後に、今回の大会に関わるすべての人々、これまでインカレの歴史を積み上げてきてくださった先人たちへの感謝と、今後もインカレの歴史が紡がれ続けていくことを強く願って、この場のあいさつといたします。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

1 はじめに

1.1 開催内容

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則 第2条第1項に定められた『個人スプリント競技部門』『個人ロング・ディスタンス競技部門』（以下、選手権の部）を開催します。同時に、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、一般の部）を開催します。

1.2 略称、呼称

要項3では、以下の略称、呼称を使用することがあります。

分類	略称、呼称	正式名称、備考
大会	インカレ	日本学生オリエンテーリング選手権大会
規則・ 規程	インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
	ISCD2018	International Specification for Control Descriptions 2018
	ISSprOM2019-2	International Specification for Sprint Orienteering Maps 2019
組織	ISOM2017-2	International Specification for Orienteering Maps 2017
	日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技部門・ クラス	スプリント	個人スプリント競技部門
	ロング	個人ロング・ディスタンス競技部門
	選手権の部	インカレ実施規則第2条1項に定められた 個人スプリント競技部門または個人ロング・ディスタンス競技部門
	一般の部	選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門

1.3 用語説明

要項3では、競技に関して以下の用語を使用することがあります。

用語	意味
タイムスタート	スタート時間になったらパンチすることなくそのまま出走するスタート方式（スプリントで採用）
リフトアップ スタート	スタートユニットからEカードを離して出走するスタート方式（ロングで採用）
走り抜け フィニッシュ	フィニッシュライン通過時を正式なフィニッシュタイムとする方式（スプリントで採用）
パンチング フィニッシュ	フィニッシュライン通過時をフィニッシュタイムとする方式とは異なり、フィニッシュを示すユニットにて記録した時刻を正式なフィニッシュタイムとする方式（ロングで採用）

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

2

タイムテーブル

2.1 11月5日(土) スプリント

時刻	選手権の部	一般の部
7:30	選手権待機所 開場	会場・駐車場 開場
	受付開始	
9:00	選手権待機所 受付終了	競技開始
10:30		受付終了 スタート閉鎖
11:00		フィニッシュ閉鎖
11:10	弁当配布	
12:15	競技開始	
14:10	スタート閉鎖	
14:40	フィニッシュ閉鎖	
14:40	表彰式	
15:25	エキシビションレース招集	
15:40	調査依頼受付終了	
16:40	会場閉鎖	

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



2.2 11月6日(日) ロング

時刻	選手権の部	一般の部
7:40		駐車場 開場
7:45	選手権待機所 開場	会場 開場
7:45	オフィシャルバス輸送(会場→待機所)	
8:25	選手権バス輸送1便(会場→待機所)	
9:00		競技開始
9:05	選手権バス輸送2便(会場→待機所)	
9:45	選手権待機所 入場締め切り	
11:00	競技開始	スタート閉鎖
11:30	地図販売/弁当配布	
13:00		フィニッシュ閉鎖
13:04	スタート閉鎖	
15:15	表彰式・閉会式	
15:34	フィニッシュ閉鎖	
15:50	復路バス輸送 1便(会場→小淵沢駅)	
16:04	調査依頼受付締め切り	
16:30	会場閉鎖	
16:40	復路バス輸送 2便(会場→小淵沢駅)	

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



3

大会全般

3.1 主管の連絡先

主管の連絡先を以下に示します。大会当日は基本的に電話で、それ以外の期間はメールで連絡してください。

▼大会当日

<スプリント競技部門 11月5日(土)>

実行委員長：生田 峻

TEL : 080-4627-0623

<ロング・ディスタンス競技部門 11月6日(日)>

実行委員長：渡辺 鷹志

TEL : 090-5417-8527

▼大会当日以外

メール：icsl2022.inquiry☆gmail.com (☆を@に変更してください)

3.2 大会公式Webサイト

<https://icsl2022.web.app/>

3.3 立入禁止区域

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル、併設大会参加者含む）および参加者に対し競技情報を提供し得る者は、本大会終了までの期間、次ページに示す立入禁止区域へのオリエンテーリング目的（トレイン視察含む）での立入を禁止します（競技参加時を除く）。詳細範囲は以下に示す地図をご覧ください。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

ただし、スプリント競技の公平性の観点から **11/4 (金) のジュネスハヶ岳本館・ジュネスハヶ岳スポーツセンターへの立ち入り・宿泊は禁止**します。その他の宿泊施設の利用は妨げません。

立入禁止区域の設定に伴い、以下のトレインをクローズします。

「編笠山」	: 2020年NPO法人オリエンテーリングクラブトータス作成
「富士見高原リゾート」	: 2015年NPO法人オリエンテーリングクラブトータス作成
「AMIGASA」	: 2000年NPO法人オリエンテーリングクラブトータス作成
「うさぎのもり」	: 1984年東京大学オリエンテーリングクラブ作成

クローズトレイン「編笠山」「富士見高原リゾート」「AMIGASA」「うさぎのもり」の地図は、大会公式Webサイト(<http://icsl2022.web.app/place.html>)にて公開されています。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

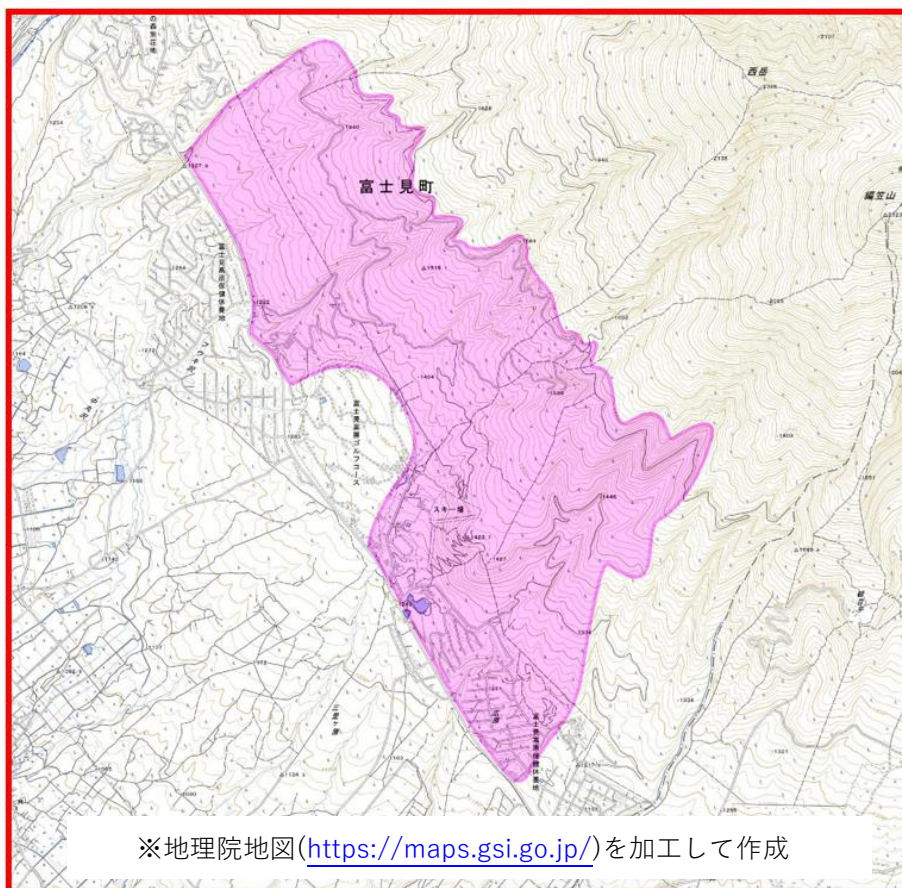
ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



3.4 トレーニングトレイン・モデルイベント

設けません。

3.5 受付

本大会の受付は11月5日(土)に選手権スタート待機所および会場にて行います。オフィシャルはいずれか一方で受付を行ってください。受付にて、配布物を受け取ってください。**選手権スタート待機所での受付時間は7:30~9:00、会場での受付時間は7:30~10:30です。**
受付で待機の際は大会役員の指示に従い、前後の人と間隔を確保してください。

<配布物提供>

- ・ レンタル SIAC
 - ・ レンタル SIAC 番号一覧表
 - ・ 安全ピン
 - ・ レンタル E カード
 - ・ レンタル E カード 番号一覧表
 - ・ バックアップラベル
 - ・ ナンバーカード
 - ・ オフィシャル ID カード (スプリント待機所で配布)
- レンタル SIAC および E カードは競技後、計センにて回収します。

<チームオフィシャルの変更>

当日のオフィシャル変更は、変更後のオフィシャルが「**新型コロナウイルス感染防止対策ガ**

イドラインの P.4 に記載された参加見合わせとする基準事項」に該当しないことを条件に認めます。 (ガイドラインは [3.15 節](#) 参照)

<E カード番号の変更>

個人所有の E カードの使用を申請した者が、E カード番号の変更を希望する場合は、受付に備え付けの用紙に変更内容を記入し、受付に提出してください。

また、事前申し込みで個人所有の E カードの使用を申請した者が、レンタル E カードを希望する場合は、別途、レンタル料(300 円/日)が必要です。

申請した番号と異なる E カードを無断で使用した場合は失格とすることがあります。

3.6 選手変更申請

選手変更は、選手権の部のみ受け付けます。申請は各地区学連単位で受け付けます。選手交代を行う地区学連は、以下の通り各地区学連幹事長が申請を行ってください。

▼必要事項

- ・地区学連名 ・対象クラス(ME/WE) ・欠場する選手の氏名、学校名、学年
- ・交代出場する選手の氏名、学校名、学年、Eカードのレンタル有無、マイEカード番号

▼申請方法

各競技前日の 16:00 までに、[icsl2022.inquiry☆gmail.com](mailto:icsl2022.inquiry@gmail.com)(☆を@に変更してください)宛に申請してください。上記の必要事項が記載されていれば、様式は問いません。

3.7 欠場連絡

今大会では感染症の流行に伴い、**欠場する場合は必ず連絡が必要**です。

受付の際に必ず欠席者の申告をしてください。大学単位で欠場する場合など、当日会場に来場できない場合は、実行委員会までメールでの連絡をお願いします。

3.8 観戦

- ・5日(土)のスプリント、6日(日)のロングともに、会場での観戦が可能です。観戦者も選手に準じ、立入禁止区域をはじめとした禁止事項を遵守してください。また、会場へのアクセスについては4章をご確認ください。
- ・スプリント選手権の部において中継映像を含むライブ配信、ロング選手権の部においてライブ配信およびGPSトラッキングを公開いたします。GPSトラッキングについては当日朝までに大会公式Webサイトに専用のリンクを掲載いたします。今年度のライブ配信については**UNIVAS LIVE**を通じた配信を行います。PCをご利用の方は[UNIVAS 公式ホームページ](#)から、スマートフォンをご利用の方は専用アプリ[UNIVAS plus](#)をダウンロードの上、ご覧ください。
- ・スプリント部門選手権の部において**競技エリア全域での観戦を認めます。会場外で観戦する際には、競技者の競技結果に影響を及ぼさないようくれぐれもご注意ください。**当日公開される観戦ガイドには選手権の部のコース図、観戦禁止エリア、観戦時の注意等を記載する予定ですので、**必ずご確認をお願いいたします。**

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.9 大会適用規則

本大会では、インカレ実施規則が適用されますが、下記の条項を不適用条項とします。競技規則は下記から確認いただけます。

(<http://www.orienteering.com/~uofj/?blogid=1&catid=6&itemid=53>)

▼不適用条項とその変更内容

要項3.0からの変更点：第21条 第1項削除

第1条 規則の適用 第4項

インカレ実施規則で定められた事項を、当該インカレに限定して不適用とし、変更する必要がある場合、2か月前までに理事会へ申し出なければならない。また、不適用条項は技術委員会の諮問及び理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は、要項に明記される。

<変更内容>

不適用事項について、2か月前から要項3発行までは、理事会・技術委員会を通して承認を得る。要項3発行以降はイベント・アドバイザーの承認により掲示する。

第10条 調査依頼と提訴 第1項

競技者およびチーム・オフィシャルは、競技者、あるいは主管者の規則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。調査依頼は、主管者に対し文書で行う。成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後1時間以内に行う。

<変更内容>

成績速報に関する調査依頼は、個人ロング・ディスタンス競技部門のみフィニッシュ閉鎖後30分以内に行う。

第25条 競技上の公正 第4項

競技中は、以下の行為を禁止する。
・外部からの助力を得ること（後略）

<変更内容>

本大会では、他者による手当は助力には当たらないものとして扱います。選手が失格を恐れて救護所を利用しない事態を避ける為です。

▼イベント・アドバイザー承認事項

第19条 コントロールの設置と器具 第8項

コントロールには、コントロール役員を置くことができる。コントロール役員は競技者を妨げてはならず、タイム・順位・その他の情報を与えてはならない。さらにコントロール役員は、静粛に、目立たない服を着用して、競技者がコントロールに接近するのを手助けしてはならない。これらの規則は、ラジオやテレビコントロール役員、給水コントロール役員、報道関係者にも適用される。但し、演出の都合で情報の提供が行われる場合はイベント・アドバイザーの了承を得て実施することができる。

<承認事項>

演出の都合で競技中の選手に対して、暫定トップタイムとの差、暫定順位等の情報が提供される場合がある。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.10 過去の気象情報

過去5年間の11月5日および11月6日の、長野県諏訪郡富士見町周辺における気象情報を以下に示します。本大会のテレインは、この観測地点から南東へ22km、標高が500m程度高い場所に位置しています。

日付	気温 [°C]			日照時間 [h]	降水量 [mm]	平均風速 [m/s]	
	最高	最低	平均				
2021年	11月5日	14.9	5.0	9.1	8.7	0.0	2.9
	11月6日	15.9	2.8	9.0	9.4	0.0	1.8
2020年	11月5日	13.0	-0.7	5.6	9.7	0.0	1.6
	11月6日	14.1	2.4	7.7	0.9	0.0	1.5
2019年	11月5日	13.0	2.9	7.2	9.2	0.0	2.1
	11月6日	13.9	2.1	6.9	7.2	0.0	2.4
2018年	11月5日	20.7	11.0	14.5	6.9	0.0	1.6
	11月6日	13.7	11.6	12.7	0.0	9.0	2.6
2017年	11月5日	10.9	2.6	6.2	9.3	0.0	2.8
	11月6日	16.7	2.2	8.7	9.7	0.0	1.8

▼観測地点

長野県 諏訪
北緯 36 度 2.7 分
東経 138 度 6.5 分

▼参考情報

気象庁ホームページの
気象統計情報

<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

3.11 傷害保険

傷害保険は大会期間における競技の最中及び自宅から競技会場までの往復途上に適用されます。怪我等により治療を受けた場合は、以下のとおり保険金が支払われます。

- ・死亡、後遺障害・・・110万円
- ・入院・・・・・・・・・・1,500円/日（180日限度）
- ・通院・・・・・・・・・・1,000円/日（事故の日から180日以内で90日限度）

この傷害保険についての問合せ・保険の請求等については、実行委員会までご連絡ください。

▼救護関連の情報について

全ての競技者、オフィシャルはこちらのフォーム(<https://forms.gle/Y9VWARbpauYRxFfX6>)から救急搬送の際に必要な事項を予めご回答ください。この情報は本大会の医療従事者及び救護スタッフのみが救急搬送時において速やかに搬送を行うために使用し、大会終了後には削除いたします。また、保険証の不携帯により病院受診が遅れるケースが発生しています。**参加者は健康保険証あるいはそのコピーと本人確認書類(運転免許証等)を持参してください。**

3.12 忘れ物

本大会の忘れ物は、大会終了後約1ヶ月間保管します。忘れ物の情報は、大会公式Webサイトにてお知らせします。

3.13 地図販売

Japan-O-entry(<https://japan-o-entry.com/event/view/1125>)での事前予約を受け付けます。10/28(金)が予約申し込み締切です。若干の当日販売もありますが、数に限りがあります。

11月6日(日)11:30より、会場受付にてスプリント・ロングの事前申し込み分の地図の受け渡しを行います。当日販売も同時刻より行います。スプリントのみ参加の方は11月5日(土)11:10以降、受付までお越しください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.14 大会中止時の対応

以下の場合には、大会を中止します。ご了承ください。

- ・天候悪化や感染症流行などの事情により、主管者が参加者の安全を確保できないと判断した場合。
- ・周辺交通機関・道路状況のトラブル等により、参加者の大半が来場できない場合、または来場できないと予想される場合。

大会中止時の案内は、当日朝6:00までに大会公式Webサイトに掲載します。

3.15 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項

- ・大会への参加は、自分自身の健康状態を十分考え、絶対に無理はしないでください。参加に当たっては、以下に示す注意事項に従い、感染の恐れがある場合は参加を控えてください。
- ・大学スポーツ協会による「ONE TAP SPORTS for UNIVAS」の『体調チェック機能』により、大会2週間前から大会後1週間(10月22日～11月13日)の体調記録を義務とします。また、大会当日の記録には「濃厚接触の有無」と「海外渡航歴」について『健康状態についてのコメント』に回答すること。どちらも該当しない場合は「該当なし」と回答してください。なお、「ONE TAP SPORTS for UNIVAS」についての詳細は[こちら](#)をご確認ください。

▼大会参加中

- ・会場および選手権待機所の入場時には検温を行います。**体温が 37.5°C以上の場合に入場を認めません。**
- ・競技中以外はマスクで口元を覆い、**飛沫拡散の防止に努めてください。**
- ・会場内の複数箇所に消毒用アルコールを設置します。不特定多数の方が触れる可能性もあるものを扱う際には、手指の消毒をお願いします。
- ・大声での応援は控えてください。ただし鳴り物や拡声器の使用は制限しません。各大学で**感染拡大防止・ソーシャルディスタンスの確保**に配慮した上で、応援の方法を工夫してください。
- ・その他、大会参加にあたっては以下に示すガイドラインに従って行動してください。

日本学生オリエンテーリング選手権大会開催における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン:

https://icsl2022.web.app/docs/icsl2022_covid_guideline_1022.pdf

▼大会参加後

- ・大会開催後1週間以内に新型コロナウイルスへの感染が発覚した場合は、速やかに大会実行委員会までメールでの連絡をお願いします。

3.16 その他の注意事項

▼各種通信機器の使用に関する注意

- ・競技の公平性担保のため、選手権の部出走者およびチームオフィシャルは、**スタート待機所および選手権クラススタート地区**において、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等各種通信機器の使用を禁止します。
- ・スタート待機所および選手権クラススタート地区において通信機器を使用した場合、理由の如何により大学単位で失格とする場合があります。やむを得ず通信機器を使用する場合は、大会本部にて使用の許可を必ず得てください。
- ・上記の理由により、**プログラムを事前に印刷することを推奨します。**

▼GPS 機器の使用に関する注意

- ・GPS による位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器について、**競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止**します。

▼撮影・広報に関する注意

- ・本大会では、大学スポーツ協会(UNIVAS)および実行委員会による写真・映像の記録を実施します。
- ・大会の様子は「UNIVAS」のホームページでアーカイブ配信が予定されています。撮影は、競技運営の妨げにならないよう配慮しておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
- ・大会に出場する選手の情報については、大会プログラムへの掲載、会場内での成績表配布や場

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

内アナウンス、加盟団体や関係機関、マスメディア等の報道機関への情報提供、送付(ホームページ掲載を含む)、本連盟の公式ホームページ、Facebook等のSNSへの画像や映像の掲載を行うことがあります。

- ・また、本大会で実行委員会が撮影した全ての写真・映像は、大会報告書およびオリエンテーリングの普及・広報活動(新聞、雑誌、広報誌、Webサイト、チラシ等)のために利用させていただくことがあります。
- ・登録選手は、日本学生オリエンテーリング連盟が主催する試合、大会において、選手の肖像、映像、氏名等(以下「選手の肖像等」という)が報道、放送されること及び当該報道、放送に関する選手の肖像等に関する使用の許諾を与えるものとします。
- ・また登録選手は着用したGPSの軌跡データ及びgpxファイルの利用の許諾を与えるものとします。

▼その他の注意

- ・トレイン内(競技会場含む)には要項およびテクニカルミーティング資料を除く、立入禁止区域内の地図およびそれに類するもの(O-Map、行政図、写真、イラストなど)の閲覧を禁止します。閲覧したことが発覚した場合は、学校単位での失格などの措置を取る場合があります。
- ・トレイン内での火気の使用、飲酒は禁止します。
- ・競技会場内では危険防止のため、競技時以外に走らないようにしてください。**特に、応援時に競技会場内を走り回ることを固く禁止します。**悪質な場合、何らかのペナルティを課すことがあります。
- ・すべての競技者、チームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が発生した場合には、怪我人の救助等を優先し、最寄りの役員、もしくは大会本部に連絡してください。
- ・自分で出したゴミは必ずお持ち帰りください。
- ・参加者が自分自身あるいは第三者へ与えた損傷、損害、損失について、主催、主管はその責任を負いません。
- ・貴重品や車等の管理は各自でお願いします。紛失、盗難、破損に対し主催、主管はその責任を負いません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

4

会場へのアクセス

4.1 会場所在地

▼スプリント

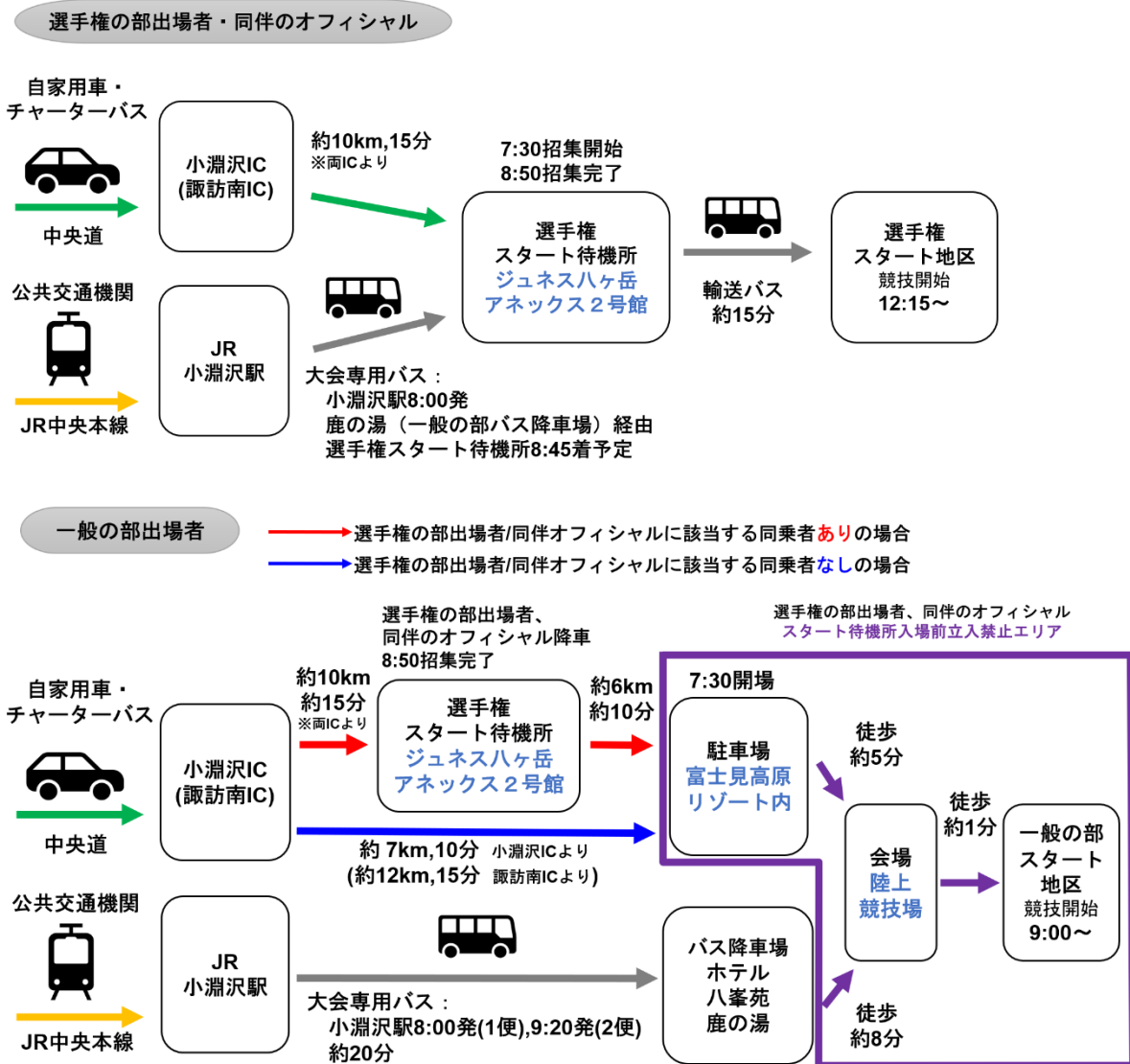
大会会場・一般の部駐車場：富士見高原リゾート（長野県諏訪郡富士見町境 12067）
 選手権の部スタート待機所：ジュネスハケ岳アネックス2号館 ※旧藤村学園ハケ岳宿舍
 （長野県諏訪郡富士見町立沢広原 1-1205 付近）

▼ロング

大会会場・駐車場：富士見高原リゾート（長野県諏訪郡富士見町境 12067）
 選手権の部スタート待機所：スプリント競技部門終了後に公開

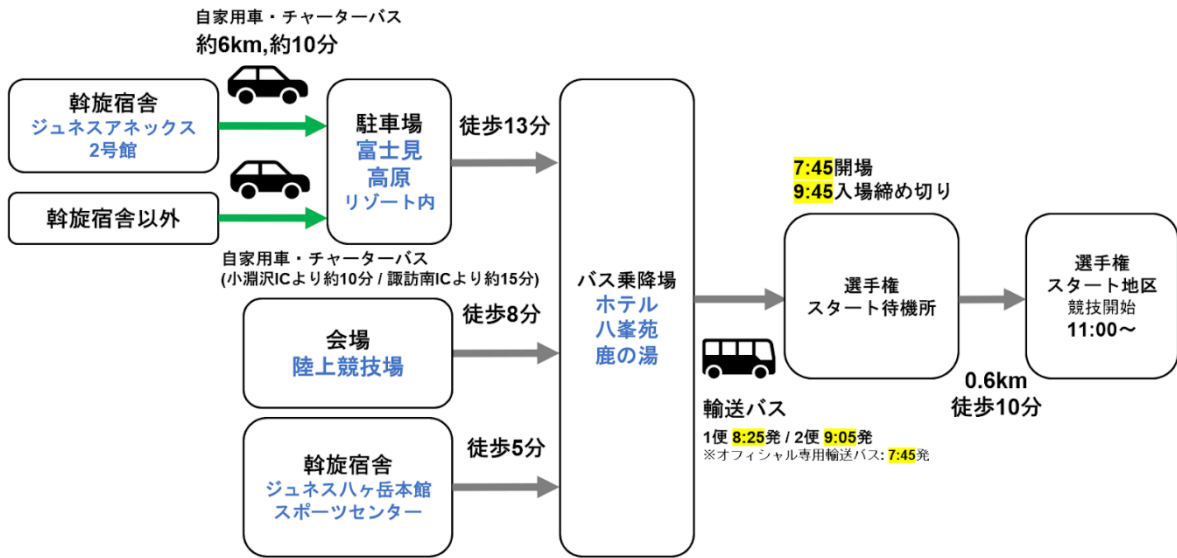
4.2 アクセスマップ

▼スプリント

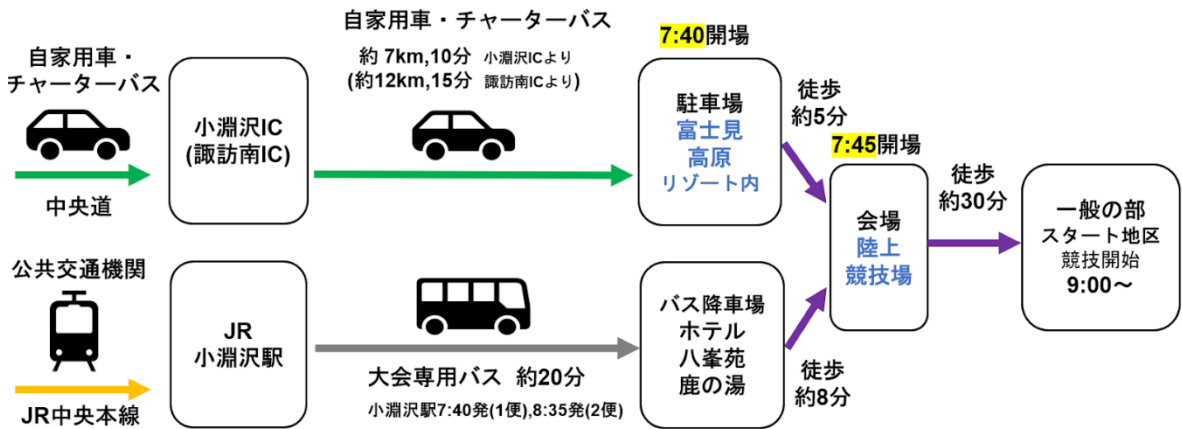


▼ロング

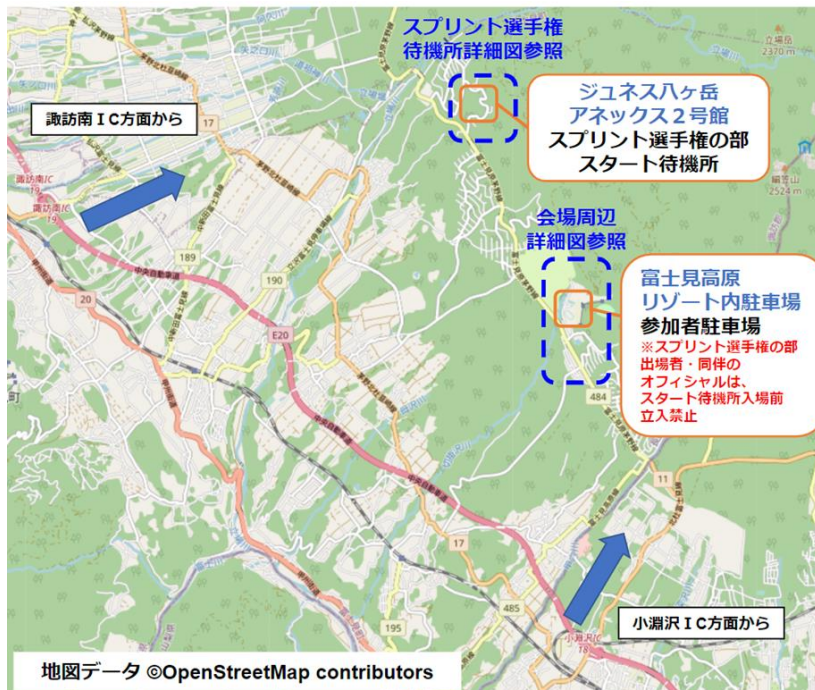
選手権の部出場者・同伴のオフィシャル



一般の部出場者



▼会場周辺広域図



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

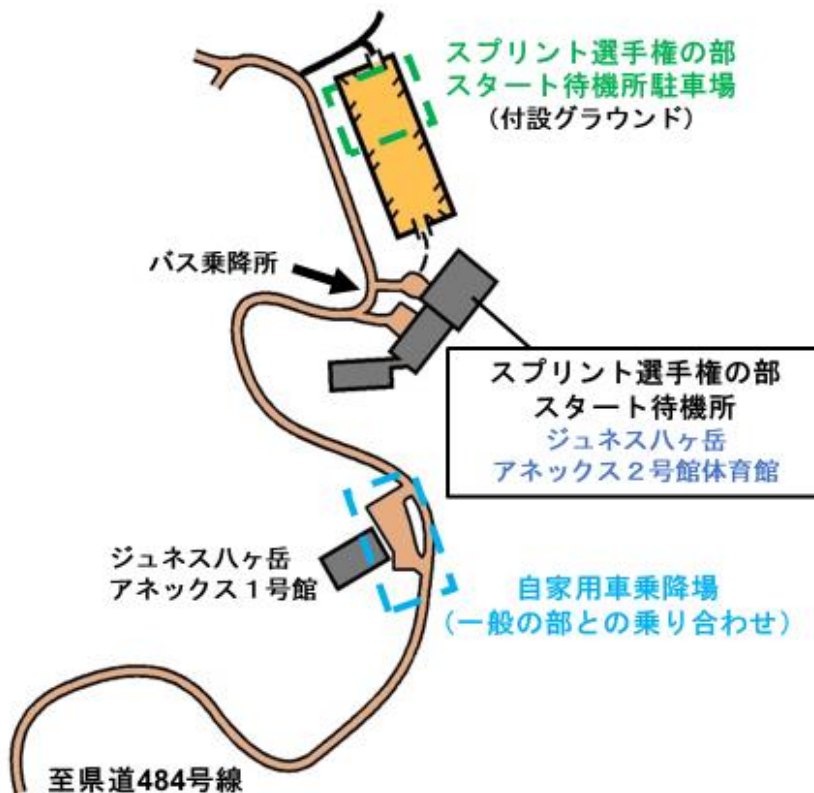
歴代入賞者

▼会場周辺詳細図

バス乗降場の位置が要項 3.0 より変更となっております。



▼スプリント選手権の部スタート待機所詳細図



▼ロング選手権の部スタート待機所

ロング選手権の部スタート待機所に関する詳細情報は、スプリント競技部門終了後、11月5日(土)15:30頃を目途に公式掲示板(会場/Web)にて公開します。

- ご挨拶
- はじめに
- タイムテーブル
- 大会全般
- 会場へのアクセス
- 競技情報
- スプリント詳細
- ロング詳細
- チームオフィシャル
- 大会役員
- インカレ実施規則
- 歴代入賞者

4.3 車・チャーターバスでの来場

▼スプリント・ロング共通

チャーターバスでご来場される場合、必ず事前に [icsl2022.inquiry☆gmail.com](mailto:icsl2022.inquiry@gmail.com)(☆を@に変更してください) へその旨をご連絡ください。

▼スプリント

▽選手権の部出場者・同伴のオフィシャル

会場周辺広域図、スプリント選手権の部スタート待機所詳細図に従って、**9:00までにスタート待機所(ジュネス八ヶ岳アネックス2号館)までお越しください。**なお、スタート待機所入場前に会場周辺詳細図で示した赤線より上の範囲には立ち入らないようお願いいたします。

※ジュネス八ヶ岳アネックス2号館はGoogleマップでは「藤村学園八ヶ岳宿舎」と表示されます。(<https://maps.app.goo.gl/sc2Rv14XgBqHQiDb6>)

・一般の部出場者と乗り合わせの場合

選手権の部出場者・同伴のオフィシャルは降車場(ジュネス八ヶ岳アネックス1号館駐車場)で降車し、スタート待機所に向かってください。

・選手権の部出場者・同伴のオフィシャルのみでお越しになる場合

指定の駐車場(付設グラウンド)に駐車してください。ただし、駐車スペースに限りがあります。可能な限り、一般の部の出場者と乗り合わせの上、降車場で降車してください。

スタート待機所からスタート地区までは選手・オフィシャルともにバスでの移動となります。スタート待機所駐車場に駐車する場合は、スタート地区に向かわないオフィシャルが車で会場に向かうか、選手権スタート閉鎖後、会場から他の参加者の車に同乗して車を取りに行くようお願いいたします。

▽一般の部出場者

会場周辺広域図、会場周辺詳細図に従って、会場までお越しください。なお、駐車場の東側はスプリント競技エリアとなっております。スポーツマンシップに則り、立入禁止エリアには入らないようお願いいたします。

▼ロング

▽選手権の部出場者・同伴のオフィシャル

会場周辺広域図、会場周辺詳細図に従って、参加者駐車場までお越しください。

・駐車場から直接スタート待機所に向かう場合

会場周辺詳細図に従って、参加者駐車場からバス乗降場(ホテル八峯苑鹿の湯)までお越し下さい。駐車場からバス乗降場までは徒歩約13分です。誘導はありません。

バス乗降場(ホテル八峯苑鹿の湯)からスタート待機所までは選手・オフィシャルともに専用バスでの移動となります。バスの発着時間等の詳細は [7.3節](#) をご確認ください。

・一度会場に寄ってからスタート待機所に向かう場合

一般の部出場者と同様に会場までお越しください。会場からバス乗降場までは徒歩約8分です。誘導はありません。

バス乗降場(ホテル八峯苑鹿の湯)からスタート待機所までは選手・オフィシャルともにバスでの移動となります。バスの発着時間等の詳細は [7.3節](#) をご確認ください。

▽一般の部出場者

会場周辺広域図、会場周辺詳細図に従って、参加者駐車場までお越しください。参加者駐車場から会場までは徒歩約5分です。誘導はありません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

4.4 公共交通機関での来場

JR小淵沢駅-会場間の大会専用バスを運行します。詳細は下記のとおりです。

なお、JR小淵沢駅のバス発着場所の詳細は次ページ以降のJR小淵沢駅大会専用バス乗降場の項目を、会場のバス発着場所は[4.2節](#)の会場周辺詳細図をご確認下さい。

▼スプリント

▽スプリント往路バス輸送

	小淵沢駅	ホテル八峯苑鹿の湯 (会場)	ジュネスハケ岳 アネックス2号館前 (選手権スタート待機所)
第1便	8:00	8:20	8:45
第2便	9:20	9:40	

上の表のとおり、JR小淵沢駅から会場、選手権スタート待機所行きの大会バスを運行します。ご自身のスタート時刻に間に合うバスにご乗車ください。**選手権の部出場者は必ず第1便にご乗車ください。**

▽スプリント復路輸送

スプリントの日の復路については希望者が少なかったため、大会バスは運行しません。会場から駅までの輸送が必要な場合は、運営者による車での輸送を行います。**輸送は15:10会場発、16:10会場発の2回のみ行いますので、輸送希望者は発車時刻の5分前までに受付までお越しください。**

▼ロング

▽ロング往路バス輸送

	小淵沢駅 発	ホテル八峯苑鹿の湯 着 (会場)
第1便	7:40	8:00
第2便	8:35	8:55

上の表のとおり、JR小淵沢駅から会場への大会バスを**追加**で運行します。エントリー時に個別希望を受け付けた方に限り乗車可能です。若干名の空きがある為、追加の乗車希望者は主管のメールアドレス(3.1節参照)宛に10月30日(日)23:59までにご連絡下さい。

なお、バス乗車時に一人あたり¥1,000を現金にて徴収いたします。釣銭が発生しないようご協力ください。

▽ロング復路バス輸送

	ホテル八峯苑鹿の湯 発 (会場)	小淵沢駅 着
第1便	15:50	16:10
第2便	16:40	17:00

大会終了後、上の表の通り会場からJR小淵沢駅への大会バスを運行します。エントリー時にてバス輸送を申し込んだ方に限り乗車可能です。事前申し込みの為、バス乗車時の現金徴収は行いません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

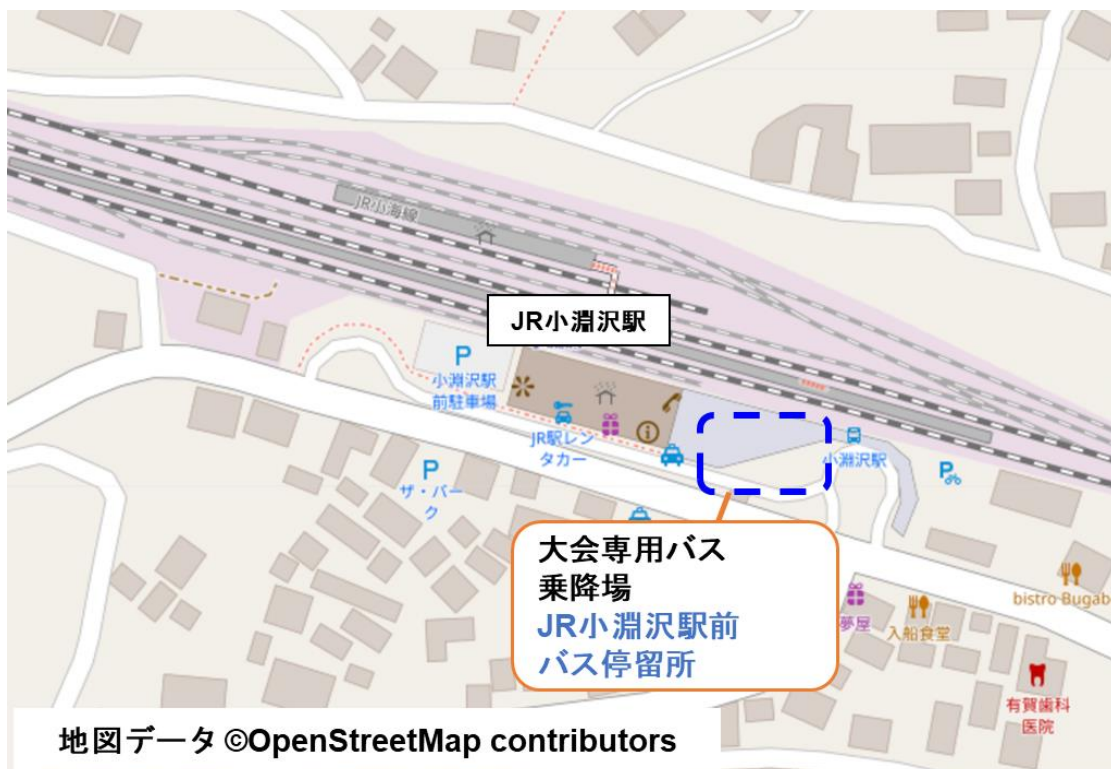
大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

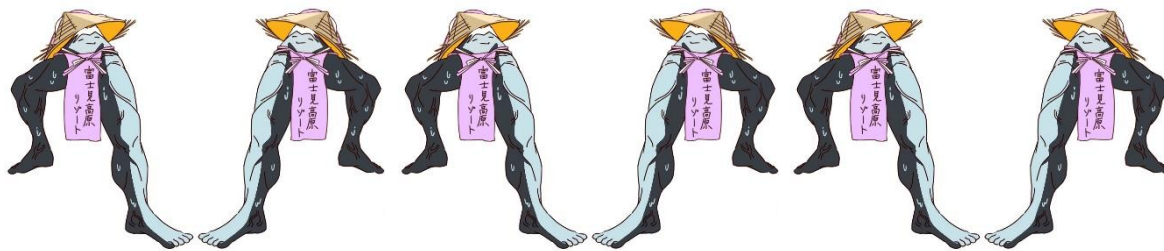
▼JR小淵沢駅 大会専用バス乗降場

大会専用バスの乗降場は下図で示した通りです。大会係員の指示に従い、バスへの乗車および降車を行って下さい。



4.5 幹旋宿について

- ・ 幹旋宿の配宿の詳細は大会公式Webサイトに掲載されています。
<https://icsl2022.web.app/bulletin.html#icsl2022-accommodation-list>
- ・ 幹旋宿の宿泊についての詳細は、10月30日(日)を目途に大会公式Webサイトに公開します。
- ・ 以下の内容を公開します。
 - タイムテーブル(チェックイン/食事/風呂の利用等)
 - 駐車場割り振り
 - ミーティングスペースの割り振り
 - 部屋割り
- ・ 不明点がございましたら、主管者のメールアドレス(3.1節参照)までご連絡ください。



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

5

競技情報

5.1 競技形式

11月5日(土)：スプリント

11月6日(日)：ロング

5.2 地図仕様

	スプリント	ロング
縮尺/ 等高線間隔	1:4,000/2m	<選手権の部> 1:15,000/5m <一般の部> 1:10,000/5m
走行可能度	4段階表記	
地図サイズ	A4	
地図表記	ISSprOM2019-2 準拠	ISOM2017-2 準拠
耐水性	透明ビニール袋封入済み	
コントロール 位置説明	ISCD2018 準拠	
特殊記号	× 目立つ人工特徴物	

5.3 コントロール位置説明表

コントロール位置説明表は地図に印刷されています。また、スタート2分前枠にて配布します。コントロール位置説明表のサイズは以下の通りです。

▼スプリント

縦180mm x 横60mm以内

▼ロング

縦250mm x 横60mm以内

5.4 コース概要・競技時間

スプリント競技				
コース設定者：稲森 剛				
選手権の部 競技時間：30分				
クラス	距離 [km]	登距離 [m]	優勝設定 [分]	
ME	3.1	90	13.5	
WE	2.7	75	14	
一般の部 競技時間：30分				
MUA1	2.8	95	14	
MUA2	2.8	95	14	
MUA3	2.8	95	14	
WUA	2.6	85	15	
MUF1	2.5	85	14	
MUF2	2.6	85	14	
WUF	2.0	60	14	

- 選手権の部において、地図の視認性を確保するため、「**両面2マップ方式**」を採用します。詳細はテクニカルミーティング代替資料および公式掲示板で掲載します。
- 選手権の部のコースの舗装された区間の割合は約40%、オープンおよび同等の区間の割合は約40%、そのほかの区間の割合は約20%です。
- 申込多数のクラスは、申し込み人数に応じて複数のクラスに分割しました。
- コース距離は最速と予想されるルートの実走距離と等距離です。
- 競技時間を越えた選手は失格となります。その場合は、**競技中でも**速やかにフィニッシュに向かってください。

ロング・ディスタンス競技				
コース設定者：小牧 弘季				
選手権の部 競技時間：2時間30分				
クラス	距離 [km]	登距離 [m]	優勝設定 [分]	給水位置 [%]
ME	9.2	510	80	15,35,60,80,85
WE	5.6	300	65	20,55,80
一般の部 競技時間：2時間00分				
MUL1	4.7	200	45	45
MUL2	4.8	215	45	45
WUL	3.3	160	45	50
MUS	3.3	160	35	-
WUS	2.9	110	35	-
MUF1	3.2	130	35	-
MUF2	3.2	140	35	-
WUF	2.9	115	30	-

- MEクラスにて、地図の視認性を確保するため、「**両面2マップ方式**」を採用します。1枚目の最終コントロールが2枚目のスタート位置です。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

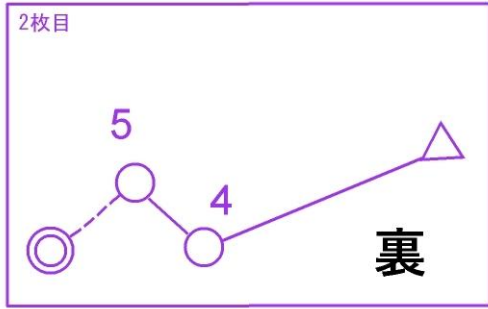
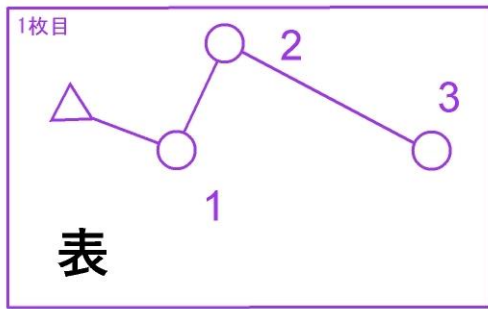
ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



両面2マップ方式

- ・申込多数のクラスは、申し込み人数に応じて複数のクラスに分割しました。
- ・距離はスタートから全てのコントロールを経由したフィニッシュまでの直線距離、登距離は最速と予想されるルートでの値です。
- ・給水位置はコース距離に対する割合を示しています。給水についての詳細は[5.14節](#)をご確認ください。(ルートチョイスによっては給水を通らない可能性もあります。)
- ・競技時間を超えた選手は失格となります。その場合は、**競技中でも**速やかにフィニッシュに向かってください。

5.5 テレインの概要

▼スプリント

競技エリアである富士見高原リゾートは、編笠山の裾野、標高1,250~1,450 mのエリアに位置し、スキー場、陸上競技場など多くのスポーツ設備を有する施設です。

施設敷地内の走行可能度は林の中も含めて概して高いです。ただし、一部の林の中には下草・倒木により走行可能度の低いエリアも存在します。

▼ロング

<概要> テレインは標高 1,200~1,600m の編笠山および西岳西麓に位置します。

<地形> 東側が高い片斜面の地形です。沢や尾根には急峻な斜面が見られます。土石流があ

った区域が存在し、安全性の面から通行を禁止している箇所があります。

<植生> 概して見通しは良いですが、倒木や下草により走行可能度が低下するエリアがあります。

<道・その他> 林道(軽車両道)・小径・小道が多く存在します。また切り開きも随所に見られます。岩石が各所に存在します。

5.6 コースプロフィール

▼スプリント

全てのクラスにおいて、心身ともに負荷が高い状況下で適切な選択を続けられるかを問うスプリント競技らしいコースとした。一瞬の判断の差が勝負を分けるレースとなる。また、選手権のみならず一般クラスの選手にも、自身の競技と選手権の観戦を通じて、スプリントの醍醐味を体感してほしい。

▼ロング

基本的なナビゲーションに加え、タフネスとルートチョイスを要求するコースである。

5.7 公式掲示板

- ・会場および選手権の部スタート待機所に公式掲示板を設置します。
- ・公式掲示板の内容は**事前に大会公式Webサイトに掲載**します。
- ・要項3発行後の変更点や連絡など、参加者に対する公式な情報はすべてこの掲示板を通じて告知します。

5.8 テクニカルミーティング

スプリント・ロングともにテクニカルミーティングは実施しません。

代替資料を 10 月 30 日(日)中に大会公式 Web サイトに掲載します。資料公開後、11 月 2 日(水)23:59 までを質問受付期間とします。質問は主管者のメールアドレス(3.1 節参照)に送信してください。詳細は資料に記載します。

回答は 11 月 3 日(木)23:59 までに Web 掲載し、大会当日に公式掲示板にも掲載します。

5.9 テレイン・コースの注意事項

▼スプリント

- ・テレイン内には立入禁止区域が存在します。立入禁止区域(709 Out-of-bounds area)の縁が0.5mm太さのパープルの実線(709 Out-of-bounds areaの境界線)で表記された箇所

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

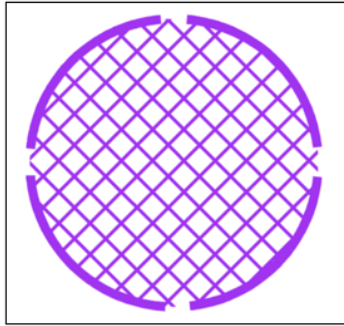
チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

には、現地に青黄色テープを張ります。通過かつ競技上の優位が認められる場合、監視員の判断で失格といたします。

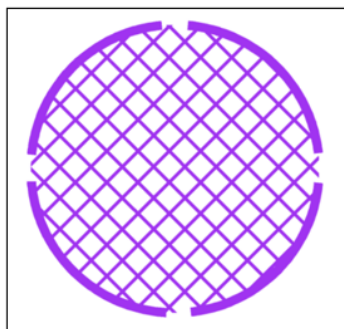


709 Out-of-bounds area

- ・選手権および一般クラスで車道を横断する箇所があります。必ず自らで安全を確認した上で道路を横断してください。

▼ロング

- ・テレイン内には立入禁止区域(709 Out-of-bounds area)が存在します。
- ・上記区域内、特に侵入の可能性がある箇所に青黄テープを設置しています。地図に表記はありません。
- ・通行不能柵を強調するため、立入禁止の境界線(708 Out-of-bounds boundary)を用いています。現地に青黄テープはありません。
- ・立入禁止区域を通過した場合、失格とします。



709 Out-of-bounds area



708 Out-of-bounds boundary

5.10 服装および所持品

- ・公序良俗に反する服装での出走を禁止します。
- ・出走にはナンバーカードの着用およびスプリント競技においてはSIAC、ロング競技においてはEカードが必要です。
- ・ピン付きシューズの出走を認めます。
- ・怪我防止のため、長袖、長ズボン、レガースの着用、足首のテーピングを推奨します。

5.11 GPSトラッキング

- ・ロング選手権の部出走者の一部を対象にGPSトラッキングを実施します。大会後にルートを公開する予定です。対象者はスタートリストで公表しています。
- ・GPSトラッキングの対象となっている選手は、スタート待機所にてGPSベストを受け取ってください。サイズはS,M,Lの3種類から選択できます。なお、本人が受け取れない場合は代理人が受け取ることができます。



GPS端末およびGPSベスト

- ・GPS端末は、選手権の部スタート地区にて装着します。
- ・GPS端末は電波の送信状況が悪い場合、音が鳴る場合があります。

5.12 ナンバーカード

- ・ナンバーカードはスプリント競技部門の大会受付にて配布します。(スプリント/ロングのナンバーカード両方)
- ・選手権の部出場者は選手1人につき2枚を、それぞれ胸と背中の見やすい位置に水平に付けてください。一般の部出場者は、選手1人につき1枚を、胸の見やすい位置に水平に付けてください。
- ・ナンバーカードは安全ピンで四隅を固定してください。

5.13 パンチングシステム

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

▼スプリント

すべてのクラスにおいてSPORTident社の電子パンチングシステムのSIAC(タッチフリー対応)を使用します。SIAC使用上の注意事項を以下に記します。

▽SIシステム概要

選手個人が持つSIACを各コントロールに設置してあるSIステーションに近づけることで、SIACにデータが記録されコントロール通過が成立します。

タッチフリーでは、静的にはSIステーションの50cm以内にSIACを近づけることでパンチが可能です。走行時にはパンチ可能な距離が短くなります。パンチが完了した際には、SIACから光と音が約3秒間発せられるので必ず確認してください。タッチフリーでのパンチの場合は、SIステーションからの光や音は発生しません。複数人が同時にパンチしたときは、音が聞こえても、他の選手のパンチの音の可能性もあります。自身のSIACの音が光を確認してください。

会場および選手権の部スタート待機所にテストステーションが設置されています。SIACの練習にご使用ください。

▽パンチが確認できなかった場合

SIACをSIステーションに近づけたときに、SIACから音も光も発生していなかったときは、SIACをSIステーションに差し込んでパンチを行ってください。差し込みパンチでも反応しない場合は、コントロールに設置されているピンパンチを使用して地図のリザーブ欄にパンチをしてください。リザーブ欄がいっぱいになったときを除き、リザーブ欄以外にパンチがあっても通過とは認めません。

▽ミスパンチについて

途中で誤ったコントロールのパンチが記録されていても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。従って、誤ったコントロールでパンチした場合でも、そのまま正しいコントロールに行っても問題ありません。

▽スタート

スタート枠手前のクリアステーションにSIACを差し込み、SIAC内のデータを消去してください。クリアステーションはSIACを挿入して数秒待つと電子音と光を発します。続いて、クリア確認のためのチェックを行っ

てください。チェックステーションは通常のパンチと同じ速度で反応します。SIACはチェックによって、タッチフリーによるパンチが可能な状態になります。この状態では、カード先端の非常に小さな緑色のLEDが10秒に1回光ります。クリアおよびチェック、SIAC先端のLEDの点滅確認をすることは、競技者の責任です。上記動作を行っていないSIACを使用した場合は、コースを正しく回ってきても失格になる可能性があります。

スタート時間になったらパンチすることなくそのまま出走する、タイムスタートによるスタート方式です。スタートリストにて指定されたスタート時刻がそのままスタート開始時刻となります。

▽フィニッシュ

走り抜けフィニッシュです。フィニッシュラインを通過した際の時刻がフィニッシュ時刻となります。一度フィニッシュラインを通過すると、タッチフリーでのパンチが可能な状態が終了するので、競技途中にはフィニッシュに近づかないようご注意ください。

▽SIAC関連の注意事項

SIACから光や音が発せられている間は、新たにパンチをすることが出来ません。

SIACとGPS内蔵の時計を同じ腕に着用しないでください。GPSアンテナによりSIACの感度が低下する可能性があります。

SIACへの加工、書き込み等は認められません。脱落防止の目的でゴム紐を付けることは許可します。競技中はSIACのベルトを指にはめ、ベルトをしっかりと締めて、落とさないようご注意ください。

SIACを破損または紛失した場合は実費(10,000円)を頂きます。SIACを破損・紛失した方は、必ず役員に申告をしてください。

以下の場合には失格となります。

1. パンチが速過ぎて信号を確認できず、SIACに電子記録がない場合。
2. SIステーションが故障している場合はバックアップのピンパンチをしなければならないが、この記録がない場合。
3. 記録できるコントロール数の上限(128)を超えてパンチを行った場合。
4. SIACを破損または紛失して、フィニッシュ後に記録が読み取れない場合。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

▽その他

同じ番号のコントロールで続けて2回以上パンチした場合は、最初のパンチのみが記録されます。

途中で誤ったコントロールのパンチが記録されていても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。

SIACへの電子的な加工は認めません。

▼ロング

すべてのクラスにおいてEMIT社の電子パンチング計時システム(Eカード)を使用します。Eカード使用上の注意事項を以下に記します。

- ・通過証明としては、Eカードへの電子記録またはバックアップラベルの記録のみを採用いたします。
- ・同じ番号のコントロールで続けて2回以上パンチした場合は、最初のパンチのみが記録されます。
- ・途中で誤ったコントロールのパンチが記録されていても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。
- ・Eカードへの電子的な加工は認めません。バックアップラベルをテープ等で固定することは認めません。
- ・エントリー時に申請した場合に限り個人所有のEカードの使用を許可します。申し込みの際に登録した番号と異なるEカードを無断で使用した場合は失格とすることがあります。
- ・個人所有のEカードを忘れた場合は、主管者側で用意したEカードを貸し出します。その場合、レンタル料(300円)を徴収します。希望者は、大会受付に申し出てください。
- ・レンタルEカードを紛失もしくは破損した場合、弁償金として実費(9,500円)を徴収します。

5.14 給水所・救護所

▼スプリント

会場内に救護所を設けます。給水所は設けません。

▼ロング

[救護所]

会場内およびトレイン内に設けます。地図上において救護所は十字のマークで示されます。

[給水所]

一般の部および選手権の部のスタート地区に有人給水所を設けます。

選手権の部の待機所には給水所を設けません。トレイン内には有人給水所および無人給水所を設けます。無人給水所は給水コントロール(コントロールに無人給水所が併設されている形式)となっております。

地図上において給水所はコップのマークで示されます。

有人給水所および救護所には、紙コップに注がれた状態の飲料水が用意されています。無人給水所でも、給水の際は必ず紙コップを使用してください。**使用後の紙コップは、設置されているごみ袋に各自で捨ててください。**

5.15 調査依頼、提訴

▼調査依頼

各校は、インカレ実施規則に対する違反について調査依頼を行うことができます。大会受付に用意する所定の文書にて申請してください。調査依頼の受付は、選手権の部のみ大会本部にて行います。

調査依頼の受付期限は、**スプリントはフィニッシュ閉鎖1時間後(15:40)、ロングはフィニッシュ閉鎖の30分後(16:04)**とします。調査依頼に対する回答は公式掲示板に掲示します。

▼提訴

調査依頼に対する回答に疑義がある場合は裁定委員会に対して提訴を行うことができます。大会受付に用意する所定の文書で申請してください。提訴の受付は、大会本部で行います。提訴の受付期限は、**調査依頼の回答が通知されたから15分後**です。

提訴は裁定委員会によって裁定が下されます。提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものとなります。関係者に通知される他、大会報告書にて報告されます。なお、裁定委員会の構成は以下の通りです(敬称略)。

▽スプリント

- ・中村 菜菜 (ES 関東 C/早稲田大学卒)
- ・南河 駿 (OLC ルーパー/GROK/名古屋大学卒)
- ・吉澤 雄大 (京葉 OL クラブ/GROK/慶応義塾大学卒)

▽ロング

- ・田中 宏明 (京都 OLC /京都大学卒)
- ・橘 孝祐 (ES 関東 C /横浜国立大学卒)

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

・吉澤 雄大 (京葉 OL クラブ/GROK /慶應義塾大学卒)

5.16 ドーピング検査

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ・本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従ってください。
- ・ドーピング検査の対象となった本大会参加者は、役員の指示に従ってください。なお、身分証明のため、大会参加者は学生証・免許証等の写真により本人確認が可能なものを持参してください。
- ・本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。
- ・血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。
- ・日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAのウェブサイトを(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください。

5.17 シード選手

日本学連理事会により、シード選手として、以下の選手が指定されています。これらの選手はスタート時刻と間隔について配慮されていません。

▼スプリント

▽ME (8名)

高木 一人 (北海道大学 4)
 用松 知樹 (慶應大学 4)
 菅波 崇志 (筑波大学 4)
 永山 遼真 (筑波大学 4)
 本庄 祐一 (東京大学 4)
 入江 龍成 (早稲田大学 4)
 平岡 丈 (京都大学 4)
 二俣 真 (京都大学 4)

▽WE (4名)

長瀬 麻里子 (お茶の水女子大学 4)
 樋口 佳那 (筑波大学 2)
 近藤 花保 (名古屋大学 4)
 松本 萌恵 (神戸大学 4)

▼ロング

▽ME (6名)

高木 一人 (北海道大学 4)
 用松 知樹 (慶應大学 4)
 永山 遼真 (筑波大学 4)
 本庄 祐一 (東京大学 4)
 平岡 丈 (京都大学 4)
 二俣 真 (京都大学 4)

▽WE (5名)

上島 じゅ菜 (お茶の水女子大学 4)
 長瀬 麻里子 (お茶の水女子大学 4)
 樋口 佳那 (筑波大学 2)
 近藤 花保 (名古屋大学 4)
 松本 萌恵 (神戸大学 4)

5.18 使用テーブル一覧

赤白色	競技中におけるすべての誘導
青色	【一般の部】 競技会場～スタート地区の誘導
紫色	不明瞭な立入禁止区域の外郭
青黄色	立入禁止区域の外郭・危険区域

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

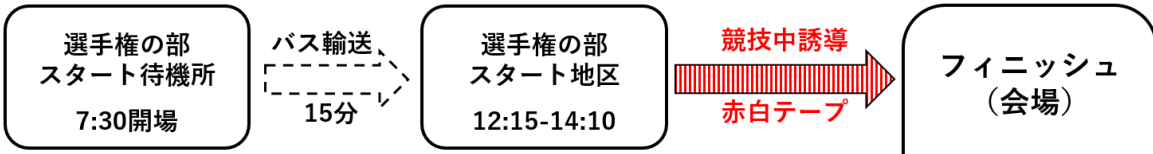
インカレ
実施規則

歴代入賞者

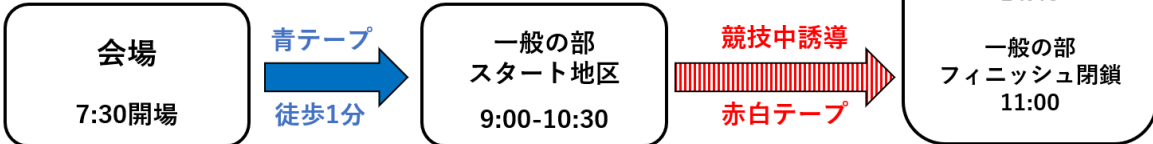
6 スプリント競技詳細

6.1 当日の流れ

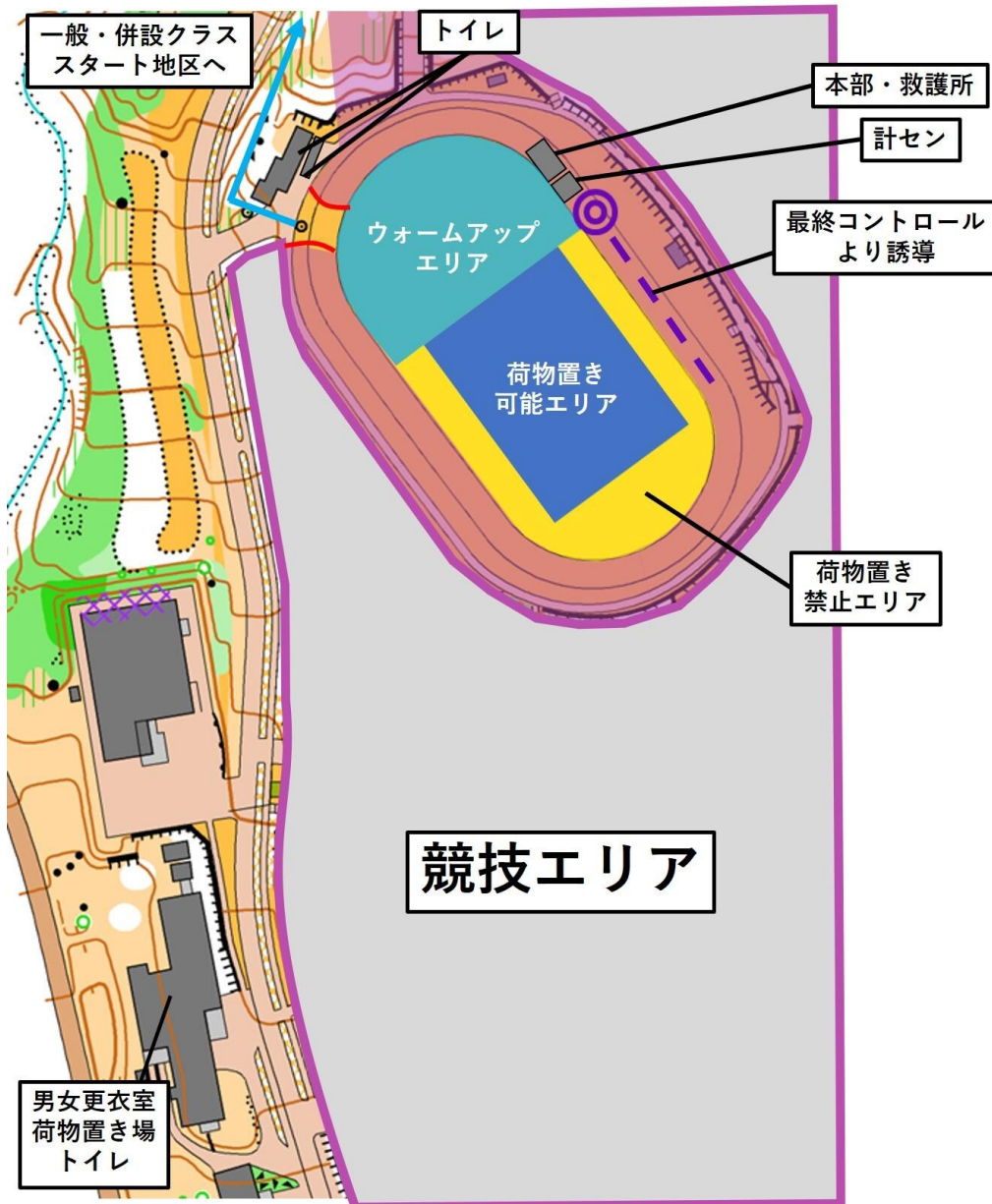
<選手権の部>



<一般の部>



6.2 会場



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

- ・会場は富士見高原リゾート陸上競技場です。
- ・会場への入場の際、全ての参加者およびチームオフィシャルはゲートで検温を受けてください。
- ・会場内では、マスクを着用してください(競技中・ウォームアップ中を除く)。
- ・トイレの使用後の手洗いを徹底してください。
- ・会場での飲食が可能です。
- ・公式掲示板を設置します。選手は出走前に必ず確認してください。なお、公式掲示板の内容は事前に大会公式 Web サイトにも掲載します。

6.3 スタート待機所

選手権のみ

- ・選手権スタート待機所への入場締め切り時刻は 9:00 です。
- ・入場の際、全ての参加者およびチームオフィシャルはゲートで検温を受けてください。
- ・スタート待機所へは選手権の部出場者およびチームオフィシャルのみが入ることができます。
- ・公式掲示板を設置します。選手は出走前に必ず確認してください。なお、公式掲示板の内容は事前に大会公式 Web サイトにも掲載します。
- ・ウォームアップエリアを設けます。
- ・待機所内では、原則マスクを着用してください(競技中・ウォームアップ中を除く)。
- ・待機所は室内です。空調設備はありませんので、防寒対策をお願いいたします。
- ・トイレ(男 5・女 3)が利用できます。**原則スタート待機所で済ませておいてください。**
- ・飲食が可能です。
- ・待機所内およびスタート地区では、GPS 機能付き時計を除く一切の通信機器の使用を禁じます。また、GPS による位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器についても、**競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止**します。後日 GPS 記録を用いたルート分析を行えるよう、GPS ログの取得は推奨します。
- ・スタート待機所から会場への荷物輸送は、原則**チームオフィシャルが行ってください**。ただし、待機所にチームオフィシャルがいない大学の荷物については、主管による荷物輸送を行います。利用する場合はネームタグを配布しますので、荷物に付けてください。ただし、輸送間隔は不定期であり、荷物の到着が遅くなる可能性があります。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

6.4 スタート地区までの移動

▼選手権の部

- ・スタート待機所からスタート地区へは**バス輸送で約 15 分**です。
- ・バス乗降場はジュネスハケ岳アネックス 2 号館前です。
- ・バス発車時刻の 5 分前にはジュネスハケ岳アネックス 2 号館の正面玄関に集合してください。
- ・チームオフィシャルは待機所からスタート地区まで、選手権の部出場者に帯同する形でバスでの移動が可能です。
- ・チームオフィシャルは 1 便あたりに乗車できる人数が限られています。スタート地区に帯同するオフィシャルは余裕をもってバスに乗車するようお願いします。
- ・専用バスの運行スケジュールは以下の表の通りです。

	出発時刻	乗車対象者 スタート時刻	チームオフィシャル 乗車定員
1 便(オフィシャル専用)	11:10		25 名
2 便	11:20	12:15~12:30 (16 名)	9 名
3 便	11:35	12:31~12:47 (17 名)	8 名
4 便	12:10	13:05~13:20 (16 名)	9 名
5 便	12:25	13:21~13:35 (15 名)	10 名
6 便	12:40	13:36~13:50 (15 名)	10 名
7 便	12:55	13:51~14:07 (17 名)	8 名
8 便 (オフィシャル専用)	13:05		25 名

▼一般の部

- ・競技会場から**青色テープ誘導**で徒歩 1 分です。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

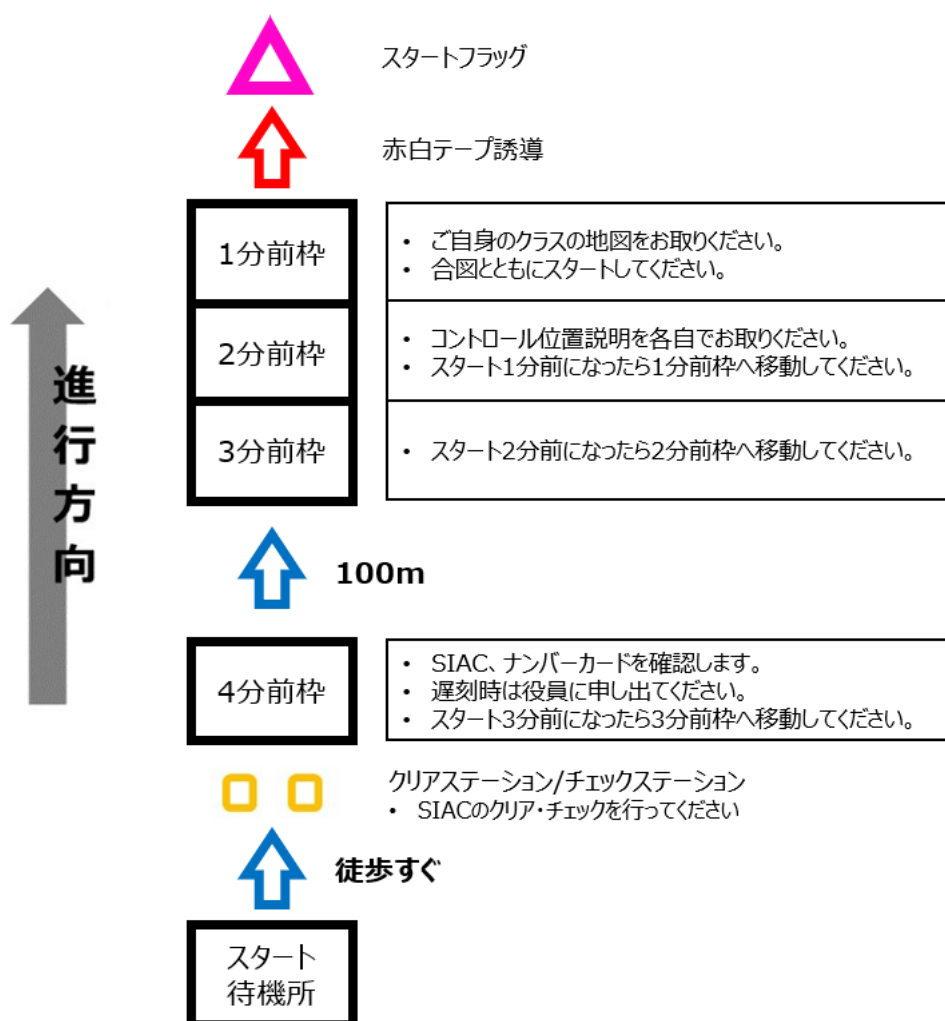
インカレ
実施規則

歴代入賞者

6.5 スタート地区

- ・ SIACの不調、遅刻等のトラブルの際は、直接大会役員にお声がけください。
- ・ ナンバーカードおよびSIACない選手は出走できません。
- ・ 選手権の部、一般の部ともに1分間隔で**インターバル・スタート**します。
- ・ **スタートチャイマーは4秒前からブザーが鳴ります。フライングにご注意ください。**
- ・ 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でSIACをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となります。
- ・ スタート閉鎖時刻は、選手権の部は14:10、一般の部は10:30です。
- ・ スタート地区にチームオフィシャルがない大学について、スタート地区から会場まで主管によるウィンドブレーカー輸送を行います。輸送時刻はスタート閉鎖後を予定しています。
- ・ チームオフィシャルはスタート地区から会場へは徒歩で移動してください。

▼選手権の部 スタート地区レイアウト図



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

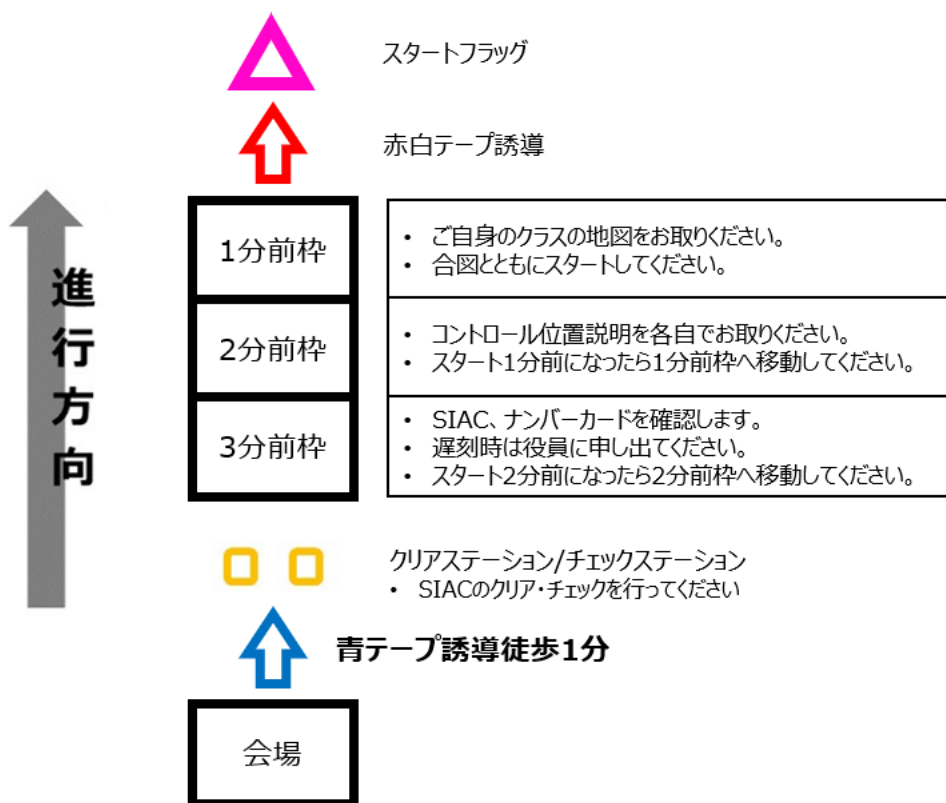
チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

▼一般の部 スタート地区レイアウト図



6.6 遅刻スタート

- スタートに遅刻した選手はスタート地区の役員に申し出てください。その後、役員の指示に従ってください。
- 競技者自身の過失によりスタート時刻に遅れた競技者は、正規のスタート時刻にスタートしたものととして計時します。主催者の過失によりスタート時刻に遅れた競技者は、新しいスタート時刻から計時します。
- 他の選手の都合により、すぐにスタートできない場合があります。
- 16分以上の遅刻は参考記録となります。

6.7 競技時間

- 選手権の部、一般の部ともに30分です。
- 競技時間を超えると失格となります。競技時間を超えそうな場合は、競技中でも速やかにフィニッシュに向かってください。

6.8 現地情報

- トレイン内に地図上で表記されていない側溝が存在します。十分に注意してください。
- 花壇の境目が不明瞭な箇所について、現地

で紫色テープを張っています。**地図上で表記はありません。**

- 天候や朝露の影響で、路面が滑りやすくなっている可能性があります。スリップによる転倒にご注意ください。

6.9 フィニッシュ

- 最終コントロールからは**赤白テープ誘導**に従って進んでください。これに従わなかった場合は失格とします。
- 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でSIACをフィニッシュに提出してください。記録の読み取りを行った後、SIACをその場で回収します。SIACを提出できない選手は失格とします。
- 走り抜けフィニッシュとします。
- 選手権の部では、フィニッシュ後にインタビューを行う場合があります。感染症拡大防止のため、フィニッシュでマスクを配布しますので、必ず着用してください。
- 地図回収は行いません。未出走の選手には地図を見せないようにしてください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

- ・フィニッシュ閉鎖時刻は、選手権の部が14:40、一般の部が11:00です。
- ・フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けません。

6.10 弁当配布

- ・弁当配布はエントリー時点で希望のあった大学に会場受付にて学校単位で行います。
- ・配布は11:10～12:00の間に行います。準備が出来次第、会場内で放送を行いますので、各校の代表者は弁当を取りに来てください。
- ・スタート待機所への弁当配布は行いません。
- ・弁当のゴミは会場にて回収するので、各校でまとめて持参してください。回収期限は16:00までです。それ以降は各自でお持ち帰りください。

6.11 表彰式

- ・表彰式は14:40から行います。表彰対象者は放送で招集するので、指示された場所に速やかに集合してください。
- ・一般の部、選手権の部の順に表彰します。
- ・選手権の部は、男女上位1名を2022年度スプリント競技選手権者として、選手権の部男女上位6名を入賞者として表彰します。また、選手権の部の日本学連初年度登録者の男女上位1名を特別表彰します。
- ・一般の部は各クラス上位3名を表彰します。

6.12 エキシビジョンレース

エキシビジョンレース			
コース設定者：稲森 剛			
競技時間：20分			
クラス	距離 [km]	登距離 [m]	優勝設定 [分]
exhibition	1.7	70	7

- ・参加対象者は各校チームオフィシャルおよび併設大会のエキシビジョンレース申込者（以下、併設申込者と略す）です。当日申込はありません。
- ・招集時刻は表彰式後の15:25です。速やかに会場内にあるスタート枠にお入りください。
- ・スタート枠に入る際、チームオフィシャル

にはSIACを配布します。また、SIACのクリア・チェックを忘れずに行ってください。

- ・2ウェーブのタイムスタート方式になります。スタート時刻は以下のとおりですので、間違えることのないよう注意してください。

15:35 チームオフィシャル

15:38 併設申込者

- ・フィニッシュ後は役員の指示に従ってSIACを提出してください。記録の読み取りを行う際、チームオフィシャルはその場に掲示されている紙を確認し、ご自身に対応する番号を役員に伝えてください。全参加者は読み取り後にSIACを持ち帰ることのないよう注意してください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

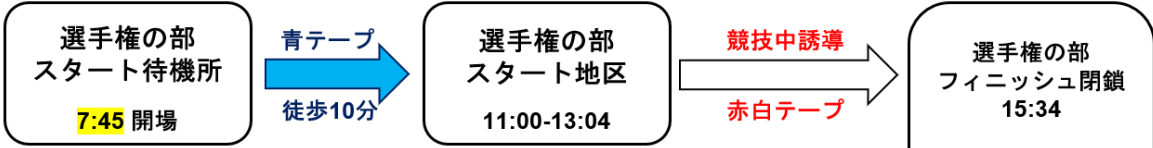
歴代入賞者

7

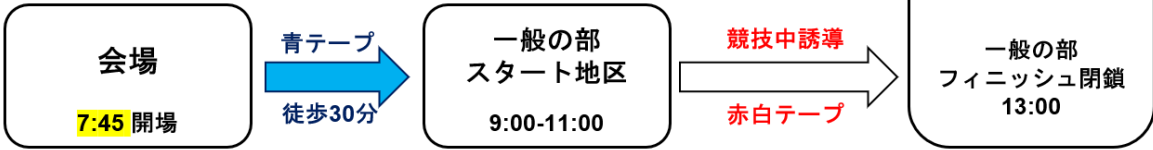
ロング・ディスタンス競技詳細

7.1 当日の流れ

<選手権の部>



<一般の部>

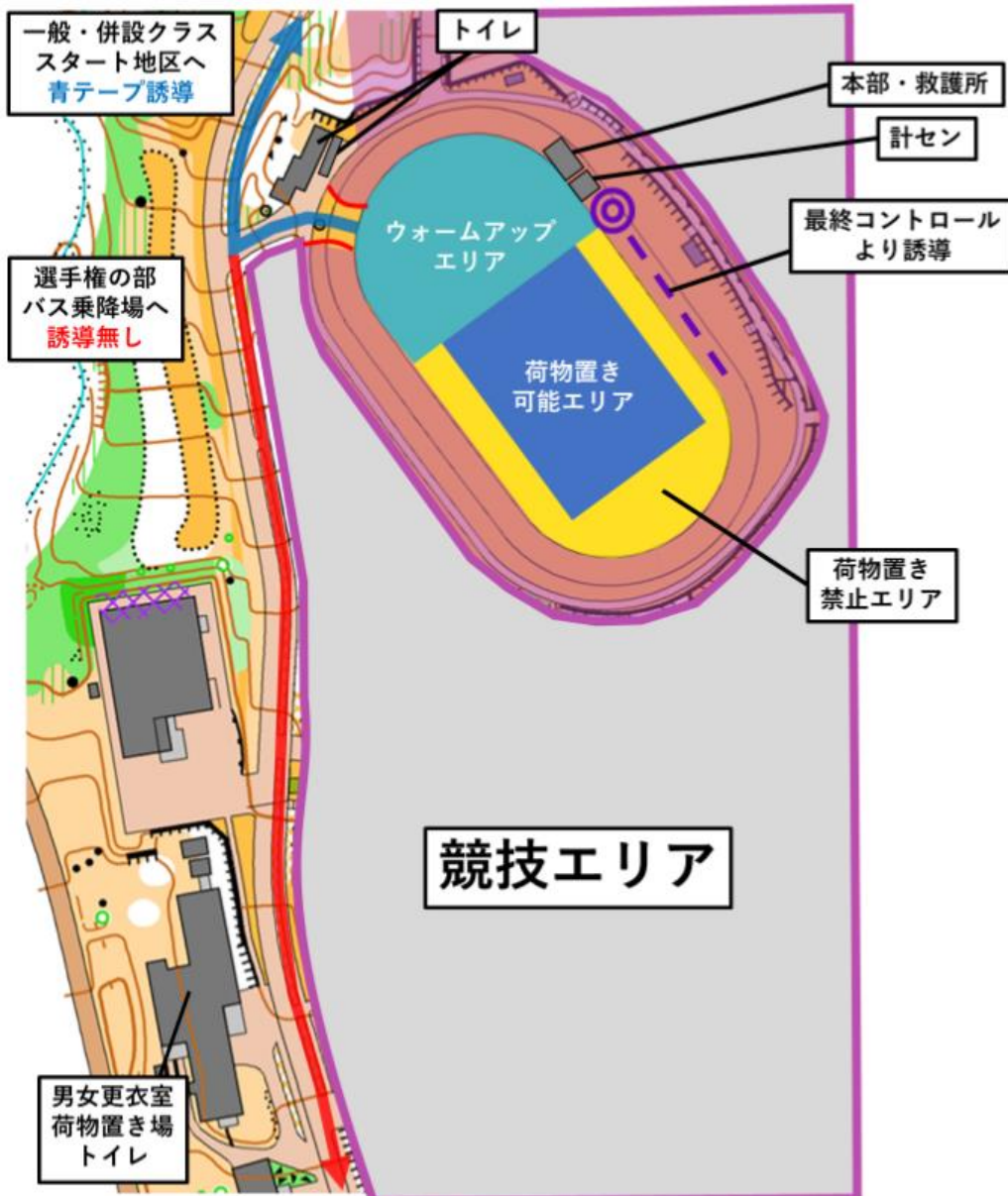


選手権の部
フィニッシュ閉鎖
15:34

フィニッシュ
(会場)

一般の部
フィニッシュ閉鎖
13:00

7.2 会場



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

- ・会場は富士見高原リゾート陸上競技場です。
- ・会場への入場の際、全ての参加者およびチームオフィシャルはゲートで検温を受けてください。
- ・会場内では、マスクを着用してください(競技中・ウォームアップエリア利用時を除く)。
- ・トイレの使用後の手洗いを徹底してください。
- ・会場での飲食が可能です。
- ・公式掲示板を設置します。選手は出走前に必ず確認してください。なお、公式掲示板の内容は事前に大会公式 Web サイトにも掲載します。

7.3 スタート待機所へのバス輸送

選手権のみ

- ・ロング選手権の部出場者およびチームオフィシャルは、全員、専用バスにてスタート待機所へ移動してください。
- ・バス乗車場はホテル八峯苑鹿の湯前です。(4.2 節の会場周辺詳細図参照) 会場から徒歩 8 分、駐車場から徒歩 13 分です。誘導はありません。
- ・バス出発時刻の 5 分前にはバス乗車場に集合してください。
- ・専用バスの運行スケジュールは下の表の通りです。

▼バス運行スケジュール

	ホテル八峯苑鹿の湯 発
オフィシャル専用便 (1~3 号車)	7:45
選手権の部 第 1 便 (1~3 号車)	8:25
選手権の部 第 2 便 (1~3 号車)	9:05

- ・チームオフィシャルは、オフィシャル専用のバスに乗車してください。
- ・選手権の部出場者は、スタート時間帯に応じて乗車バスが指定されています。下の表で指定されたバスに乗車してください。

▼乗車バス

オフィシャル専用便 (7:45 発)	乗車対象者
1~3 号車	チームオフィシャル (各車：24 名迄)

選手権の部 第 1 便 (8:25 発)	乗車対象者	スタート時刻
1 号車		11:00~11:30 (16 名)
2 号車		11:31~11:46 (16 名)
3 号車		11:47~12:02 (16 名)

選手権の部 第 2 便 (9:05 発)	乗車対象者	スタート時刻
1 号車		12:03~12:18 (16 名)
2 号車		12:19~12:34 (15 名)
3 号車		12:36~13:04 (15 名)

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

7.4 スタート待機所

選手権のみ

- ・ **スタート待機所への入場締め切り時刻は 9:45 です。それ以降の入場は受け付けません。**
- ・ 入場の際、全ての参加者およびチームオフィシャルは**入り口で検温**を受けてください。
- ・ スタート待機所へは選手権の部出場者およびチームオフィシャルのみが入ることができます。
- ・ 公式掲示板を設置します。選手は出走前に必ず確認してください。公式掲示板の内容は事前に大会公式 Web サイトに掲載します。
- ・ 一部選手には待機所にて GPS ベストを配布します。出走までに着用してください。着用する選手はスタートリストで公表しています。
- ・ ウォームアップエリアを設けます。
- ・ 待機所内では、原則**マスクを着用してください**(競技中・ウォームアップエリア利用時を除く)。
- ・ 雨風を避けることができます。
- ・ トイレの数は、待機所の詳細情報公開の際に公表します。
- ・ 飲食が可能です。
- ・ 待機所内およびスタート地区では、GPS 機能付き時計を除く一切の通信機器の使用を禁じます。また、GPS による位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器についても、**競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止**します。後日 GPS 記録を用いたルート分析を行えるよう、GPS ログの取得は推奨します。
- ・ スタート閉鎖後、待機所から会場へのチームオフィシャルの輸送を行います。運航時刻については当日待機所にて告知します。

7.5 スタート地区までの移動

▼選手権の部

- ・ スタート待機所から**青色テープ誘導**で徒歩 10 分です。

▼一般の部

- ・ 競技会場から**青色テープ誘導**で徒歩 30 分です。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

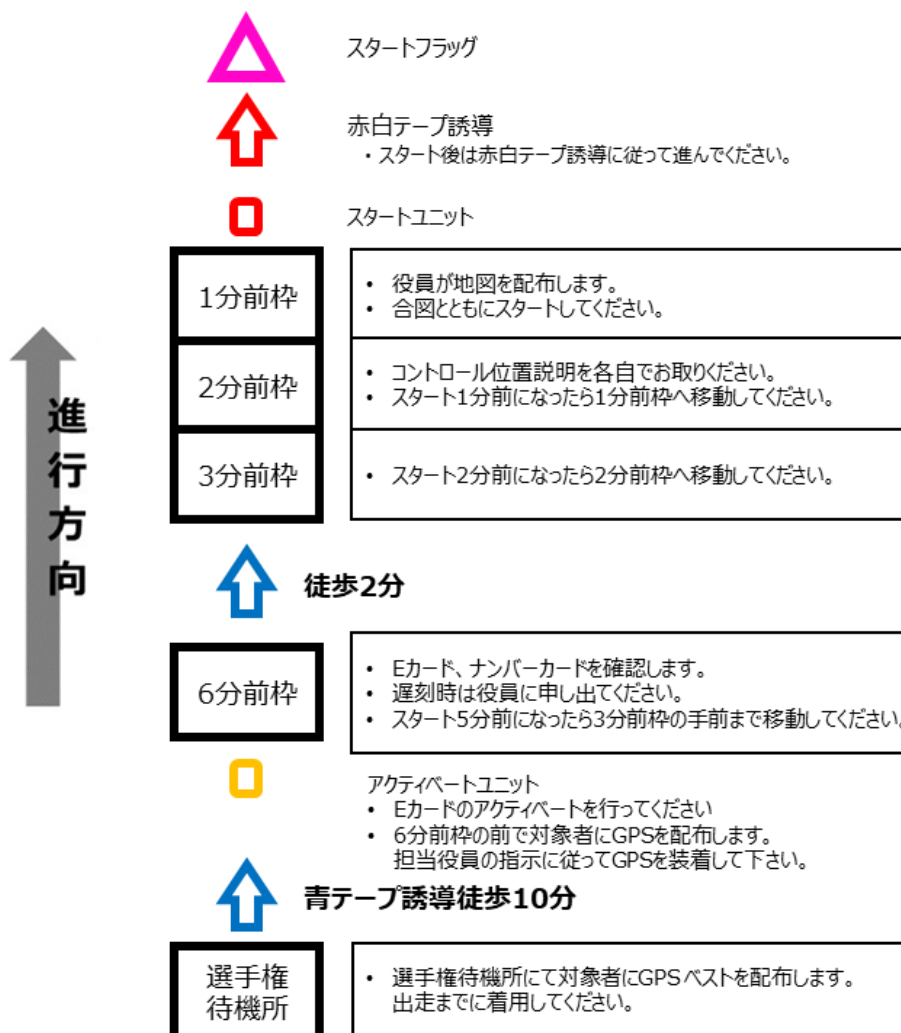
インカレ
実施規則

歴代入賞者

7.6 スタート地区

- ・Eカードの不調、遅刻等のトラブルの際は、直接大会役員にお声がけください。
- ・ナンバーカードおよびEカードのない選手は出走できません。
- ・選手権の部は2分間隔(ME、WEが交互に出走する時間あり)、一般の部は1分間隔でリフトアップスタートします。
- ・**スタートチャイマーは4秒前からブザーが鳴ります。フライングにご注意ください。**
- ・選手権の部出場者の一部の選手に対して、スタート地区にてGPS端末を配布します。役員の指示に従って装着してください。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でEカードをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となります。
- ・スタート閉鎖時刻は、一般の部は11:00、選手権の部は13:04です。
- ・スタート待機所から会場への荷物輸送は、原則チームオフィシャルが行ってください。ただし、チームオフィシャルが不在の場合は、主管による荷物輸送を行います。利用する場合はネームタグを配布しますので、荷物に付けてください。ただし、輸送間隔は不定期であり、荷物の到着が遅くなる可能性があります。

▼選手権の部 スタート地区レイアウト図



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

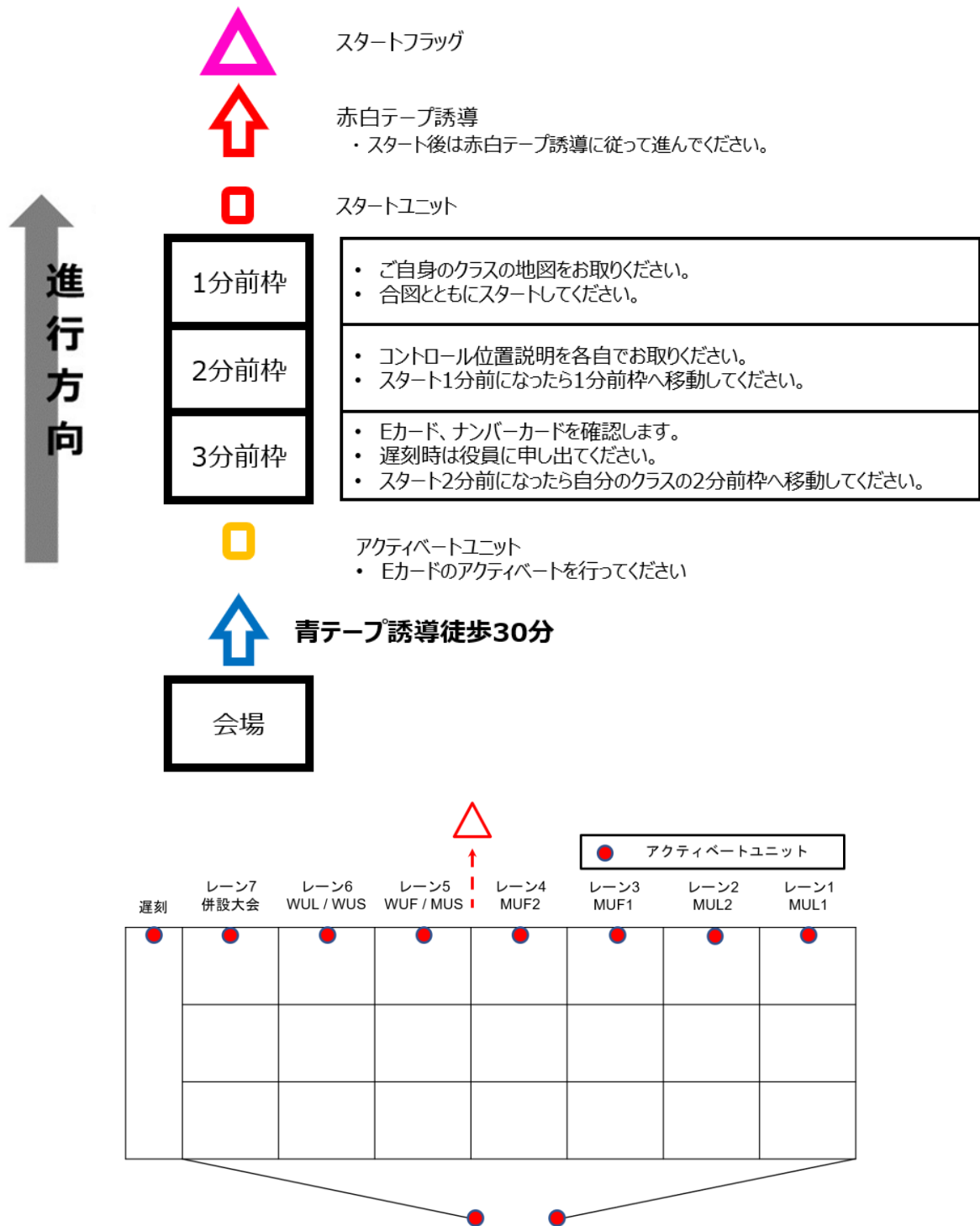
チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

▼一般の部 スタート地区レイアウト図



7.7 遅刻スタート

- ・スタートに遅刻した選手はスタート地区の役員に申し出てください。その後、役員の指示に従ってください。
- ・競技者自身の過失によりスタート時刻に遅れた競技者は、正規のスタート時刻にスタートしたものととして計時します。主催者の過失によりスタート時刻に遅れた競技者

は、新しいスタート時刻から計時します。

- ・他の選手の都合により、すぐにスタートできない場合があります。

7.8 競技時間

- ・選手権の部は2時間30分、一般の部は2時間です。
- ・競技時間を超えると失格となります。競技

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

時間を越えそうな場合は、競技中でも速やかにフィニッシュに向かってください。

7.9 フィニッシュ

- ・最終コントロールからは**赤白テープ誘導**に従って進んでください。これに従わなかった場合は失格とします。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でEカードをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となります。
- ・パンチングフィニッシュとします。
- ・フィニッシュ後、計算センターにてGPS端末を回収します。
- ・選手権の部では、フィニッシュ後にインタビューを行う場合があります。感染症拡大防止のため、フィニッシュでマスクを配布しますので、必ず着用してください。
- ・GPSベストは、レース後、大会受付にて回収します。
- ・地図回収は行いません。未出走の選手には地図を見せないようにしてください。
- ・Eカードは役員の指示に従って提出してください。記録の読み取りを行った後、その場で選手に返却します。Eカードを提出できない選手は失格とします。
- ・フィニッシュ閉鎖時刻は、一般の部が13:00、選手権の部が15:34です。
- ・調査依頼は会場にて受け付けます。

7.10 弁当配布

- ・弁当配布はエントリー時点で希望のあった大学に会場受付にて学校単位で行います。
- ・配布は11:30～12:30の間に行います。準備が出来次第、会場内で放送を行いますので、各校の代表者は弁当を取りに来てください。
- ・スタート待機所への弁当配布は行いません。
- ・弁当のゴミは会場にて回収するので、各校でまとめて持参してください。回

収期限は16:00です。それ以降は各自でお持ち帰りください。

7.11 表彰式・閉会式

- ・表彰式は15:15から行います。表彰対象者は放送で招集するので、指示された場所に速やかに集合してください。
- ・一般の部、選手権の部の順に表彰します。
- ・選手権の部は、男女上位1名を2022年度ロング・ディスタンス競技選手権者として、選手権の部男女上位6名を入賞者として表彰します。また、選手権の部の日本学連初年度登録者の男女上位1名を特別表彰します。
- ・一般の部は各クラス上位3名を表彰します。
- ・併設大会での企画「**学生応援！フラッグ山分け杯**」により、フラッグを多く獲得した上位6校を発表します。なお、各校の獲得フラッグ数は確定次第掲示しますので、フラッグを受け取りに本部までお越しく下さい。詳細は後日発行される併設大会プログラムをご参照ください。
- ・表彰式終了後、閉会式を行います。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

8 チームオフィシャル

チームオフィシャルは、スプリントの選手権スタート待機所で配布するIDカードを必ず身につけてください。

但し、スプリント競技の日に選手権待機所に向かわないチームオフィシャルについては、この限りではありません。ロング競技の日については、IDカードを必ず身につけて下さい。

加盟校名	氏名
岩手医科大学	高橋 友徳
岩手大学	菊池 美結
東北大学	今野 陽一
	小林 伸次
	小林 俊介
	古関 駿介
北海道大学	清水 嘉人
宮城学院女子大学	千葉 滉平
	佐々木 亜珠
金沢大学	濱崎 大暉
新潟大学	丸山 幸太
	岩淵 悠太
	滝沢 壮太
	坂本 慧
お茶の水女子大学	世良 史佳
慶應義塾大学	伊藤 頌太
	田淵 ヒカル
	桃井 陽佑
	岩崎 佑美
千葉大学	笠井 虹太
	宮嶋 哲矢
筑波大学	村田 千真
	大栗 由希
	宮本 和奏
	森 恒大
東京大学	伊藤 元春
	朝間 玲羽
東京理科大学	阿部 朱莉
法政大学	森川 周
横浜国立大学	津田 卓磨
	中嶋 律起
	清野 幸
	佐藤 美那子
早稲田大学	中村 諒
	大石 洋輔
	竹山 翔悟
	秋元 郁

加盟校名	氏名
早稲田大学	入江 龍成
一橋大学	池ヶ谷 みのり
	根本 夏林
	栗本 美緒
	藤原 悠平
東京工業大学	倉田 瞭一
	宮川 靖弥
日本女子大学	橘 詩乃
芝浦工業大学	伊藤 嵩真
茨城大学	竹下 晴山
横浜市立大学	鈴木 琢也
	井上 千帆里
	清水 俊祐
	和田 康次郎
国際基督教大学	小林 璃衣紗
十文字学園女子大学	宮本 樹
静岡大学	和田 佳丈
名古屋大学	五十嵐 羽奏
	伊部 琴美
	棚橋 一樹
	石川 創也
名古屋工業大学	藤井 一樹
	小俣 敦宏
椛山女学園大学	中野 真優
	明田 彩里
大阪大学	萱尾 澄人
	竹重 拓輝
	片岡 佑太
京都大学	太田 知也
	古池 将樹
	和佐田 祥太郎
	石田 倫啓
神戸大学	永山 尚佳
神戸市立工業高等専門学校	藤田 奈津美
広島大学	山内 優太

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

9

大会役員

▼スプリント競技部門

実行委員長	生田 峻	(関東学院17)	競技副責任者	青芳 龍	(東北16)
競技責任者	根本 啓介	(筑波17)	イベント・アドバイザー	結城 克哉	(東京09)
運営責任者	稲森 夕衣	(横浜市立15)			
コースプランナー	稲森 剛	(横浜国立15)			

▼ロング・ディスタンス競技部門

実行委員長	渡辺 鷹志	(慶應義塾16)	イベント・アドバイザー	阿部 稜	(東北12)
競技責任者	長岡 凌生	(東北16)			
運営責任者	田中 悠	(慶應義塾13)			
コースプランナー	小牧 弘季	(筑波17)			

▼共通部門 各責任者

渉外責任者	木村 佳司	(山口80)	会計責任者	篠塚 みずき	(横浜市立16)
人事責任者	大橋 陽樹	(東京16)	広報責任者	山本 智士	(名古屋16)
資材責任者	戸澤 貴志	(横浜国立16)	エントリー責任者	比企野 純一	(東京16)

▼各チーフ

会場	若松 甫	(東京工業16)	交通	菌部 駿太	(東北17)
スタート(スプリント)	森山 凌佑	(千葉17)	スタート(ロング)	堀尾 健太郎	(名古屋14)
計算センター	濱野 奎	(慶應義塾15)	演出	佐藤 遼平	(東京15)
配信	坂野 翔哉	(東京理科14)	Web	岩井 龍之介	(京都16)
救護	山根 萌加	(京都16)	大会キャラクター	谷口 恵祐	(東北16)

▼その他の役員

有賀 裕亮	(早稲田14)	高柳 知朗	(筑波17)	西下 遼介	(慶應義塾16)
伊東 瑠実子	(東京12)	友田 賢吾	(東京経済18)	高橋 利奈	(日本女子16)
増澤 すず	(筑波16)	飯田 泰史	(東京16)	高橋 友理奈	(東北15)
河村 優花	(名古屋16)	齋藤 佑樹	(早稲田15)	田村 一紗	(横浜市立17)
森田 夏水	(早稲田16)	小竹 佳穂	(筑波16)	伊藤 拓馬	(東北17)
山田 基生	(東北17)	小林 祐子	(東北17)	金子 哲士	(東北17)
小澤 翔	(慶應義塾14)	小寺 義伸	(東京工業17)	小林 美咲	(十文字学園女子16)
古殿 直也	(東京工業17)	佐藤 珠穂	(法政17)	大鶴 啓介	(東京17)
種市 雅也	(東京16)	岩垣 和也	(名古屋16)	久野 公愛	(日本女子16)
高橋 ひなの	(東北15)	香取 瑞穂	(立教17)	村田 茉奈美	(フェリス女学院15)
長谷川 望	(早稲田16)	上村 太城	(慶應義塾16)	小林 博文	(早稲田89)
伊佐野 はる香	(東北15)	西村 直哉	(早稲田16)	瀬川 出	(東京14)
嶋崎 涉	(東北17)	川口 真司	(名古屋16)	鹿野 梨佳子	(実践女子16)
土屋 輝	(関東学院18)	平入 麻衣	(横浜市立13)	森田 櫻織	(横浜市立13)

▼地図調査者

西村 徳真 宮西 優太郎

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

日本学生オリエンテーリング選手権実施規則

※ 条項に(ロング), (ミドル), (スプリント), (リレー)とある場合, 当該条項は, 該当する競技部門にのみ適用される。

第1章 全般的な規則

第1条 規則の適用

1. この規則は、日本学生オリエンテーリング連盟（以下、日本学連と略す）が主催する、日本学生オリエンテーリング選手権大会（以下、インカレと略す）に適用される。
2. すべての選手登録者、選手を支援する者（以下、チームオフィシャル）、競技を運営する者及びその他の併設大会参加者・観戦者・報道関係者など選手権競技者と接する者は、この規則に従う。
3. 競技者ならびに主管者は、この規則の解釈にあたっては、スポーツとしての公正さの保持を第一義としなければならない。
4. インカレ実施規則で定められた事項を、当該インカレに限定して不適用とし、変更する必要がある場合、2か月前までに理事会へ申し出なければならない。また、不適用条項は技術委員会の諮問及び理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は、要項に明記される。
5. インカレ以外の大会にインカレを併設して開催している場合、この規則に定める内容を不適用とする際は、イベント・アドバイザーの同意のみを必要とし、理事会の承認を不要とする。

第2条 競技部門と競技形態・種別

1. インカレは、次の8つの競技部門を設ける。
 - ・男子ロング：個人ロング・ディスタンス競技部門
 - ・女子ロング：個人ロング・ディスタンス競技部門
 - ・男子ミドル：個人ミドル・ディスタンス競技部門
 - ・女子ミドル：個人ミドル・ディスタンス競技部門
 - ・男子スプリント：個人スプリント競技部門
 - ・女子スプリント：個人スプリント競技部門
 - ・男子リレー：3名のリレー競技部門
 - ・女子リレー：3名のリレー競技部門
2. インカレは、すべて昼間競技で行う。
3. 単一レース競技で行う。
4. インカレは、すべてポイント競技で行う。
5. 男子ロング・女子ロングにおける優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者、男子ミドル・女子ミドルの優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者、男子スプリント・女子スプリントの優勝者をスプリント競技選手権者、男子リレー・女子リレーにおける優勝校をリレー競技選手権校とする。

第3条 日程

1. インカレの各競技部門の開催は、年1回とする。

2. インカレの日程と正式名称は、原則として次のとおりとする。

- ・秋インカレ（8月～12月）：ロング、スプリント
- ・春インカレ（1月～3月）：ミドル、リレー

3. インカレは、開会式、閉会式を別途行うことができる。

第4条 参加規定

1. 選手権競技者は、日本学連に競技者登録されていないしなければならない。
2. 各加盟校及び各準加盟校（以下、各校と略す）は、選手権競技者資格を有する者からなる選手登録名簿を申し込み時に提出する。

（ロング）

3. ロングの競技者数は、男子60名、女子30名とし、別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し、別に定める規則によって、競技者数を追加することができる。ロングの競技者は、選手登録名簿に記載された者とする。

（ミドル）

4. ミドルの競技者数は、男子60名、女子30名とし、別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し、別に定める規則によって、競技者数を追加することができる。ミドルの競技者は、選手登録名簿に記載された者とする。

（スプリント）

5. スプリントの競技者数は、男子60名、女子30名とし、別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し、別に定める規則によって、競技者数を追加することができる。スプリントの競技者は、選手登録名簿に記載された者とする。

（リレー）

6. リレーの出場資格校は、日本学連の加盟校及び準加盟校とする。各校は、男女各々1チームをリレーに出場させることができる。リレーのチームは、選手登録名簿に記載された者により構成される。但し、男子リレーに女子選手を出場させることができる。

7. 各校は、選手登録者とは別に、チームオフィシャルを同行させることができる。各校は、チームオフィシャル登録名簿を申し込み時に提出する。各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下のとおりとする。
 - ・男子クラスの選手権への選手登録に対して、2名
 - ・女子クラスの選手権への選手登録に対して、2名

8. 参加者は、自己の安全に対して自分で責任を負う。参加者が負った怪我、障害、損害について主催者は一切責任をもたない。また、参加者が第三者に与えた損害についても参加者自身が責任を負う。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第5条 要項

1. 主管者は、インカレに関する必要な情報を、要項としてすべての地区学連及び日本学連事務局へ送付、あるいはWebサイトにて公開、あるいはメールにて送付する。

2. インカレの要項の発行時期は、以下の通りとする。

・要項1（6カ月前）：

開催日、開催地、主管者の連絡先、競技責任者の氏名、イベント・アドバイザーの氏名、立入禁止区域

・要項2（4カ月前）：

日程、トレインの概要、地図に関する情報（縮尺、等高線間隔、走行可能度表示）、トレインの標高（コースの15%以上が1,200mを超える場合のみ）、採用するパンチングシステム、コース設定者の氏名、トレーニング・モデルイベントに関する情報、一般クラス・併設大会がある場合その情報、観戦者のための情報、宿泊・輸送に関する情報、参加費、申込方法、申込締切日

・要項3（2週間前）：

気象、特殊な地図表記、コース距離・登距離、優勝設定時間、特殊な位置説明、スタート時刻、競技のタイムスケジュール、集合場所、代表者ミーティングに関する情報、承認された実施規則の不適用条項と変更内容、その他競技に関する留意事項

第6条 申し込み

1. インカレの申し込みは、所定の方法によって、要項2に示された締切日までに行われる。但し、選手登録名簿の変更は、大会開催の6週間前まで認められる。

（ロング、ミドル、スプリント）

2. 各地区学連の代表者は、ロング、ミドル、スプリントにおいて、競技前日の16時までであれば、競技者を交替させることができる。

（リレー）

3. リレー出場校は、リレーの競技者と競技順を競技前日の16時まで提出する。競技者に不慮の事故の場合、リレー競技開始1時間前までであれば競技者を交替させることができる。但し、この場合は裁定委員の承認を必要とする。

第7条 トレーニングとモデルイベント

1. 事前に実際の競技で使用するものに似たトレイン・地図でのトレーニングの機会が提供されることが望ましい。

2. 競技の前日に、モデルイベントが提供されることが望ましい。モデルイベントでは、トレインのタイプ、地図の品質、コントロールの特徴物、コントロールの設置、給水ポイントおよびマーカー・ルートのそれぞれの状況がわかることが望ましい。

3. 電子パンチングシステムを使用する場合、モデルイベントにおいて実際の競技に用いる器具の使用機会が提供されることが望ましい。

第8条 スタート順の決定とスタートリスト

（ロング、ミドル、スプリント）

1. ロング、ミドル、スプリントのスタート抽選は、イベント・アドバイザーの元、あるいは公開で行われ、当該競技前日の17時までには発表される。

2. ロング、ミドル、スプリントにおいては、スタート順等において配慮される競技者（シード選手）を設けることができる。シード選手は、イベント・アドバイザーの承認を必要とする。シード選手の選出数は競技者の1/6程度までの人数とする。

3. ロング、ミドル、スプリントは、男女それぞれ1人ずつ同一の時間間隔でスタートする（タイムスタート）。スタート間隔は、ロング、ミドルは少なくとも2分間はとるものとする。スプリントは少なくとも1分間はとるものとする。

4. リレーにおけるコースの組み合わせの抽選は、イベント・アドバイザーの元で行われる。コースの組み合わせは、最後の競技者がスタートするまで秘密にされる。

5. リレーのスタートは、マススタートとする。

第9条 成績

1. 成績速報は、競技進行中順次掲示される。フィニッシュ閉鎖後1時間以内にすべて掲示される。

2. 公式成績には、失格者も含めすべての競技者が記載される。リレーの成績は、競技順・各競技者の名前と所要時間・コースの分割方法と組み合わせも記載される。

第10条 調査依頼と提訴

1. 競技者およびチーム・オフィシャルは、競技者、あるいは主管者の規則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。調査依頼は、主管者に対し文書で行う。成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後1時間以内に行う。

2. 調査依頼に対する主管者の回答に疑義がある場合、提訴を行うことができる。提訴は、裁定委員会に対し文書で行う。

第11条 表彰

1. 各競技部門6位までを表彰する。

2. 参考記録の競技者及び学校は表彰の対象とならない。

第12条 報告書

1. 各競技終了後3カ月以内に、主管者は次の内容の報告書を作成する。

- ・大会実施報告
- ・スタート順と公式成績
- ・イベント・アドバイザーの報告
- ・将来への提言

2. 報告書は、すべての加盟校及び準加盟校、日本学連事務局、及び次年度の主管者に送付される。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第2章 競技に関する規則

第13条 テレイン

1. テレインは、インカレのコースを設定するのに適している場所を選定する。テレインの選定に際しては、環境保護に十分留意しなければならない。
2. テレインは、どの競技者も不当に優位に立つことのないよう、競技の前に可能な限り長くオリエンテーリングに利用されないようにする。

第14条 コース

1. インカレのコース設定にあたっては、国際オリエンテーリング連盟 (IOF) の『コース設定の原則』に従う。
2. コースの水準は、インカレに適格でなければならない。
3. コントロールを回る順番は、主管者によって指定される。競技者はこれを守り、主管者はこれを確認する。
4. コース上の誘導区間は、競技者は必ずこれをたどるものとする。誘導区間の開始地点には必ずコントロールを置く。

(ミドル、ロング)

5. 同時にレースが進行するのであれば、女子のコースと男子のコースで別々のコントロールを使用するのが望ましい。
6. 選手権以外のコースがある場合、別々のコントロールを使用するのが望ましい。
7. リレー競技では、コントロール順はチームによって別々の並びになるが、全体としては全チームが同じコースを走る。テレインとコース・コンセプトによっては、各走区の距離が大きく異なるようにしてもよいが、各走区のトップタイムの合計は規定通りになるようにする。走区の距離が大きく異なる場合、その走区ごとの距離の配列は、全チームで同一でなければならない。
8. 個人競技において、コントロール順を競技者ごとに異なる並びにしてもよい。しかし、すべての競技者は、全体としては同じコースを走るようにする。
9. 主管者は、環境保護あるいはそれに類する理由のための指示を競技者に与えることができる。競技者は、これを厳守しなければならない。

第15条 距離と登距離

1. コースは、以下の優勝時間を想定し、設定される。

	男子	女子
ロング	70-80分	55-65分
ミドル	35-40分	35-40分
スプリント	13-15分	13-15分
リレー(各競技者)	30-50分	30-45分
リレー(合計)	120-150分	110-135分

2. コース距離は、スタートからコントロールを経由してフィニッシュまでの直線距離とする。ただし、物理的に通行不能な妨害(高いフェンス、湖、通れない崖等)、立入禁止エリア、およびマクト・ルートは例外とする。

3. コース距離は、要項3で実際のコース距離が発表される。
4. 登距離は最も速く走れると予想されるルートの登距離で示される。ロングの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の7%を越えないように設定されるのが望ましい。ミドル、リレーの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の6%を越えないように設定されるのが望ましい。
5. 登距離は要項3で実際の登距離が発表される。

第16条 地図

1. 地図、コース・マーキング、および追加印刷は、『国際オリエンテーリング地図図式』または『国際スプリント・オリエンテーリング地図図式』に準拠して作成、印刷する。逸脱する場合はイベントアドバイザーの同意を必要とする。
2. ロング・ディスタンス競技の地図縮尺は 1:15000 とする。ミドル・ディスタンス競技およびリレーの地図縮尺は 1:10000 とする。スプリント競技の地図縮尺は 1:4000 とする。
3. 地図の間違ひまたは地図を印刷した後でテレインに変化があり、それが競技会に影響があるのであれば、地図に重ね刷りする。
4. 地図は水分や損傷に耐えうるものにする。
5. もし競技エリアに以前に作られたオリエンテーリング地図があれば、最新版の高解像度のコピーを要綱で公表または提示する。
6. 競技当日は、主催者が許可するまで、競技者あるいはチーム・オフィシャルが競技のエリアを記したいかなる地図を使用することも禁止する。
7. 競技用の地図は、コースを走る競技者が必要とする以上に大きくしてはならない。

第17条 コントロール位置説明

1. コントロールの正確な場所を、コントロール位置説明によって明示する。
2. コントロール位置説明は、『国際コントロール位置説明仕様』に定められた記号の形式で作成する。
3. コントロール位置説明は、そのコースのコントロール順に記載したものを、競技で使う地図の前面に貼付または印刷する。
4. インターバル・スタートの競技では、地図とは別にコントロール位置説明表を、そのコースの競技者にプレ・スタートまたはスタート・レーンで配布する。配布地点より前には公表しない。

第18条 現地における表示

1. 誘導区間は、赤と白の2色のテープにより示される。
2. 立ち入り禁止区域の外郭が表示される場合、青と黄の2色のテープにより示される。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第19条 コントロールの設置と器具

1. すべてのコントロールには、コントロールフラッグが設置される。
2. コントロールフラッグは、3つの正方形を三角柱状に結合した形とする。それぞれの面は、およそ30cm×30cmで、対角線によって2分して白とオレンジに色分けする。
3. コントロールフラッグは、地図上に示された特徴物の場所に、競技者が特徴物にたどり着いたときに見えるようにして設置される。
4. コントロール（スタートのコントロール・フラッグを含む）は30m以内に近接して設置しないようにする。スプリントではもっと短縮してよい。地図の縮尺が1:4000または1:3000の場合は、走行距離で25m、直線距離で15m以上離す。
5. パンチしている人がいることで、付近にいる競技者がコントロールを見つけるのを著しく有利にすることのないように、コントロールを設置する。
6. すべてのコントロールは、数字によるコントロール識別番号で区別される。コントロール識別番号は白地に黒で書かれ、競技者がはっきり読めるように示される。
7. コントロールの器具は、コース上のすべてのコントロールで同一のものを使用する。十分な数のパンチもしくはユニットをコントロールフラッグのすぐ近くに設置する。
8. コントロールには、コントロール役員を置くことができる。コントロール役員は競技者を妨げてはならず、タイム・順位・その他の情報を与えてはならない。さらにコントロール役員は、静粛に、目立たない服を着用して、競技者がコントロールに接近するのを手助けしてはならない。これらの規則は、ラジオやテレビコントロール役員、給水コントロール役員、報道関係者にも適用される。但し、演出の都合で情報の提供が行われる場合はイベント・アドバイザーの了承を得て実施することが出来る。
9. 優勝設定時間が45分を超える競技は、給水所を設ける。給水所では、少なくとも適温の飲用水を提供する。

第20条 パンチングシステム

1. 使用するパンチングシステムは、主管者の判断にゆだねられる。
2. 競技者は、各コントロールにおいて、提供されているパンチ器具を使って、自分自身のカードにパンチすることに責任を持つ。1つの機器が故障している、あるいは故障しているように見える場合は、競技者は用意されているバックアップを使用しなければならず、パンチの記録がなければ失格となる。
3. コントロール・パンチが欠落しているか不明瞭なものがある競技者は、パンチのミスが競技者の過失ではないことが立証できなければ、失格となる。競技者の過失でなければ、コントロールの係員またはカメラによる確

認や、コントロール（パンチ器具）の記録を読み取って、くことで通過証明としてもよい。競技者の過失であればそのような証拠は認められず、競技者を失格としなければならない。

4. 電子パンチを用いる場合には、バックアップシステムを用いなければならない。

第21条 スタート

1. 個人競技は、インターバル・スタートで行う。リレー競技は、マス・スタートで行う。
2. 計時を開始するスタートより手前にプレスタートを置く方式を採用してもよい。プレスタートの先へは、スタートする競技者しか入ることはできない。
3. 競技者が正しくスタートレーンに入れるように、スタート地区には時計を設置する。スタート地点にも競技者が現在時刻を確認できるように時計を置くことが望ましい。
4. スタートは、後続の競技者や他の者が、地図、コース、ルート選択あるいは最初のコントロールへの方向を見ることができないように設営する。必要に応じて、計時を開始するスタートからオリエンテーリングを開始する地点までマクト・ルートにする。
5. 競技者はスタート時刻と同時またはそれ以降に地図を取る。競技者は自分自身の責任で正しい地図を取る。競技者が、スタート前に地図が正しいことを確認できるような情報（競技者のスタート番号、名前またはコース等）を、地図の裏面またはその近くに表示する。競技者に地図をあらかじめ配布する方式をとる場合は、競技者はスタート時刻と同時またはそれ以降に、スタートラインからスタートする。スタート時刻まで地図を見てはいけない。
6. オリエンテーリングを開始する地点は、地図上ではスタートの三角形で記し、現地にはパンチ器具のないコントロール・フラッグを設置する。
7. スタート時刻に遅れた競技者も、スタートすることを許される。スタート時刻に遅れた競技者はスタート係員の指示にしたがって、可能な限り速やかにスタートする。正規のスタート時刻にスタートする競技者に対して影響がないように留意する。スタート係員は、実際にスタートした時刻を記録しておく。
8. 自分自身の過失によりスタート時刻に遅れた競技者は、正規のスタート時刻にスタートしたものと計時する。主催者の過失によりスタート時刻に遅れた競技者は、実際のスタート時刻から計時する。
9. リレー競技におけるチェンジオーバーは、各リレー・チームのメンバー同士がタッチすることで行う。フィニッシュする前走者が次走者の地図を取り、それを受け渡すという方法で行ってもよい。
10. リレーで正しくかつ適時にチェンジオーバーをすることは、主催者がフィニッシュして来るチームをあらかじめ通知することになっているとしても、競技者自身

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

の責任である。

11. イベントアドバイザーが同意すれば、主催者はチェンジオーバーできなかったリレー・チームの以降の走区の競技者をマス・スタートさせてもよい。

12. リレー・チームは、いったん失格を承諾したら、そのチームのそれ以降のメンバーはスタートできない。

13. チェンジオーバー地区では、チームの次走者は、チームの前走者がフィニッシュに近づいていることが把握できるようにする。

14. 主催者は、スタート前の選手がコースについての情報を得ることを防ぐために隔離ゾーンを設けてもよい。主催者は、選手およびチーム・オフィシャルが隔離ゾーンの中にいなければならない時間を定める。主催者は、隔離ゾーンで待つ選手のための適切な便宜（トイレ・給水・雨除け等）を提供することが望ましい。締切時刻を設けて、それ以降に選手またはチーム・オフィシャルが隔離ゾーンに入ることを禁止してもよい。競技者およびチーム・オフィシャルが隔離ゾーンで通信機器を使うことは許されない。

第22条 フィニッシュおよび計時

1. 競技者がフィニッシュ・ラインを越えたときに競技は終了する。

2. フィニッシュまでは、テープ、ロープあるいは柵によって誘導する。最後の 20mは直線とする。

3. フィニッシュ・ラインの幅は、インターバル・スタートの場合は少なくとも 1.5m 以上、マス・スタートまたはチェイシング・スタートの場合は少なくとも幅 3m以上にする。ラインは入ってくる方向に対して直角にする。フィニッシュ・ラインの正確な位置が、フィニッシュしてくる競技者にとって明瞭に見えるようにする。

4. 競技者はフィニッシュ・ラインを越えた、またはチェンジオーバーを終了したときに、コントロール・カードまたは通過記録を提出する。主催者からの要求があれば、競技地図も提出する。

5. フィニッシュ・タイムは、以下のいずれかの時間で計時する。

- ・競技者の胸がフィニッシュ・ラインを横切ったとき
- ・競技者がフィニッシュ・ラインでパンチしたとき

計時用の光ビームが使われている場合は、地上 0.5～1.25m 上に設置されたビームを競技者が横切ったときタイムは秒以下を切り捨てとする。タイムは時間/分/秒または分/秒で表示する。

6. マス・スタートまたはチェイシング・スタートの競技では、着順判定の係員が、選手の胸がフィニッシュラインを通過した順番に基づいて最終順位を判定する。裁定委員のメンバーのうち 1 人はフィニッシュ・ラインにいたことが望ましい。

7. フィニッシュ地区には救護所を設置し、必要な備品を用意しておく。救護担当のスタッフが常駐していることが望ましい。『ナビゲーションスポーツのための安

全ガイド』を参照すること。

8. 競技時間は、ロングでは2時間30分まで、ミドルでは1時間40分まで、スプリントでは40分までとする。この時間を超えた競技者は失格とする。リレーでは5時間までとする。

第23条 成績

1. 競技の間は、暫定的な成績を、フィニッシュ地区または参加者が集まる場所において公表、掲示する。

2. 公式の成績は、最後にスタートした者の競技可能時刻が経過した後、4 時間以内に公表する。

3. 公式成績表には、参加した競技者すべての記録を記載する。リレーでは、オーダー順に競技者の名前とその走区でのタイム、および各自の走ったコース・パターンを記載する。

4. インターバル・スタートで 2 人以上の競技者が同タイムとなった場合は、成績表では同順位とする。同順位に続く順位は、空位とする。

5. マス・スタートまたはチェイシング・スタートでは、競技者がフィニッシュした順に順位が決まる。リレーではチームの最終走者がフィニッシュした順になる。

6. リレーで繰り上げスタートになった場合、繰り上げスタートになったチームの順位はチームの各競技者の時間の合計で決める。繰り上げスタートになったチームの順位は、チェンジオーバーできて正規の方法でフィニッシュしたチームより後になる。

7. 制限時間を超過した競技者およびチームには順位がつかない。

8. 結果は競技会の当日中にインターネットで公表する。

9. 成績は、競技者がスタートしてからフィニッシュするまでのタイムによって決めなければならない。（交通量の多い道路を含む短い区間など）事前に決められた場合を除いて、スプリットタイムを基にして一部のレッグを除いて計算することは許されない。

第24条 服装と用具

1. 主管者が定めない限り、服装の選択は自由である。

2. ナンバーカードは、競技中常にはっきり見えるようにして、胸と背中に着用する。ただし、ミドル、スプリントに関しては少なくとも胸に着用すればよい。ナンバーカードの大きさは、25×25 cmを超えないものとする。数字は、最低でも10 cm以上の高さが必要である。

3. 競技中は、コンパス、時計と、主管者から支給された地図、コントロールカード、コントロール位置説明表のみ使用してよい。その他のオリエンテーリングの技術的な補助器具の使用は禁止する。

第25条 競技上の公正

1. インカレに関与するすべての者は、公正と正直を旨に行動しなければならない。スポーツ精神と友情を忘れてはならない。競技者は、他の競技者、役員、報道関係

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

者、観客、テレインや大会区域に居住する人々を尊重しなければならない。

2. 管理者は、イベント・アドバイザーの同意を得て、前もって競技を行うテレインの位置を公表するとともに、立入禁止区域を設定することができる。テレインの位置を公表しない場合、すべての役員は、大会区域とテレインを厳重に秘密にしておかなくてはならない。

3. 選手登録者及びチームオフィシャルは、競技を行うテレインにあらかじめ立ち入ることは禁止される。管理者により発表された事項以上のコースに関する情報を得ようとするのは、禁止される。

4. 競技中は、以下の行為を禁止する。

- ・外部からの助力を得ること
- ・共同で走り、方向決定を行うこと
- ・故意に他の競技者を追走し、その競技者の能力を利用しようとする
- ・他の者から情報を得ようとする

5. 競技者は、一度計時線を越えたら、管理者の許可なく競技区域に入ってはいけない。

6. 棄権した競技者は、フィニッシュを必ず通過しなければならない。また、この者は、決して競技に影響を及ぼしてはならない。

7. あらゆる種類の移動手段の利用は、禁止される。

8. 参加者及び管理者は、競技を妨害してはならない。

9. インカレ実施規則を犯したことが判明した競技者は、失格となる。

10. インカレは日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。

11. 選手権の部に出場する選手はアンチ・ドーピング研修の受講が必要である。

第3章 運営に関する規則

第26条 インカレ実行委員会

- 1.** インカレは、インカレ実行委員会が主管する。
- 2.** インカレ実行委員会は、当該インカレの1年前までに理事会の承認のもとで組織される。

第27条 秘密保持

1. 管理者、イベント・アドバイザー及びその補佐、その他テレインやコースを知る者は競技上の公正さを保つための秘密を保持する義務を負う。

第28条 経費

- 1.** インカレ運営に関する経費は、主催者が支出する。
- 2.** 主催者は、参加者から参加費を徴収することができる。

第29条 裁定委員会

1. 裁定委員会は、異なる出身校の3名で構成される。裁定委員は、理事会が指名し、競技の前日までに全員の氏名が公表される。裁定委員は、大会組織に関与してはな

らない。

2. 裁定委員会の審議には、イベント・アドバイザーと管理者の代表は参考人として出席することができる。

3. 裁定委員会は、大会中に起きた規則あるいはその他の問題に対する提訴に裁定を下す。裁定委員会の審議は、3人全員の出席をもって成立する。任務を遂行できない裁定委員があったときには、理事会は代理を指名しなければならない。

4. 裁定委員会の判断は最終的なものである。

第30条 イベント・アドバイザー

1. イベント・アドバイザーは、日本学連を公式に代表し、管理者に対して派遣される。

2. イベント・アドバイザーは、技術委員会の助言のもとに、技術委員会の委員の中から理事会が指名する。指名は、当該インカレの1年前までに行われる。

3. イベント・アドバイザーの主な任務は、インカレ実施規則が遵守されていることを確認することである。また、必要のある事項については技術委員会との協議を行う。

4. イベント・アドバイザーは、インカレが適正に行われるように、少なくとも以下の任務を遂行する。

- ・要項の内容を確認すること
- ・会場、テレインの適格性を確認すること
- ・スケジュール全体（宿泊、食事、輸送、日程、費用、トレーニングの機会）を確認すること
- ・スタート、フィニッシュ、チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウトを確認すること
- ・計時システムの信頼性と正確性を判断すること
- ・地図が規定に合致しているか確認すること
- ・地図の正確さ、作図・印刷の妥当性を確認すること
- ・コースの適格性（距離、競技時間、難易度、コントロール位置と設置状態、偶然性の排除など）を確認すること
- ・リレーにおいては、コースの分割方法と組み合わせが適切かどうか確認すること
- ・コントロール位置説明が適切かどうか確認すること
- ・式典が適切かどうか判断すること
- ・競技への影響の可能性の観点から、報道関係者、観客等に対する処遇を確認すること
- ・運営組織、人事、会計及び競技運営全般を確認すること

5. インカレ開催中、イベント・アドバイザーは、大会会場に常駐し、以下の任務を遂行する。

- ・管理者に対して助言を与えること
- ・裁定委員会の提訴に関わる審議を補佐すること

6. イベント・アドバイザーは、以上の他に自分の裁量で、インカレの準備と実行に関係ある活動を確認する。

7. イベント・アドバイザーは、必要に応じて任務を補佐する者を指名することができる。イベント・アドバイザー補佐は、特に、地図作成、コース、イベント、運営組織、人事、会計、スポンサー、メディア等のうち、イベ

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

ント・アドバイザーが必要と考える分野において、任務を補う。

第31条 報告

1. 主管者は、当該インカレ開催後2週間以内にイベント・アドバイザーに以下のものを送付する。

- ・公式成績
- ・各競技部門のコース図および全コントロール図
- ・その他必要と思われる資料

2. イベント・アドバイザーは、当該インカレ開催後3カ月以内に幹事会、理事会及び技術委員会にその活動の報告を送付する。

3. 主管者は、すべての要項とプログラム、大会報告書を日本学連事務局に送付する。日本学連事務局は、これらを資料として保存する。

第32条 メディア・サービス

1. 主催者および主管者は、メディア取材者に対して、報道するに好都合な機会を提供することが望ましい。

2. 主管者は、競技の公平さを損ねない限りにおいて、メディアの報道のために最大限の努力をすることが望ましい。

第33条 改正

1. 本規則の改正は総会の議決による。

第34条 施行

1. 本規則は2004年4月1日より施行する。

2. 本規則は2021年12月6日より改正施行する。

2003年11月15日 制定
2004年11月 6日 改正
2005年11月 7日 改正
2007年 4月 1日 改正
2008年 3月10日 改正
2009年11月22日 改正
2015年 3月 9日 改正
2016年 3月14日 改正
2019年11月 9日 改正

2021年 9月19日 全文改正
2021年12月5日 改正

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

歴代入賞者紹介

スプリント競技部門

第1回 2015年10月3日 長野県諏訪郡富士見町

男子

1	稲森 剛	横浜国立 1	12:36
2	宮西 優太郎	東北 4	13:04
3	小林 隆嗣	東北 2	13:13
4	宮本 樹	東京 1	13:20
5	築地 孝和	神戸 3	13:46
6	角田 貴大	横浜市立 2	13:46

女子

1	五味 あずさ	金沢 4	12:12
2	守屋 舞香	椋山女学園 4	13:28
3	山岸 夏希	筑波 1	14:43
4	松田 沙也加	岩手 4	15:27
5	帯金 未歩	大阪 3	15:46
6	香取 菜穂	千葉 1	16:11

第2回 2016年11月19日 栃木県下野市

男子

1	伊藤 樹	横浜国立 2	14:53.6
2	小松 栄輝	東北 4	15:18.4
3	種市 雅也	東京 1	15:32.3
4	築地 孝和	神戸 4	15:44.3
5	太田 将司	一橋 2	15:49.0
6	稲森 剛	横浜国立 2	15:51.1

女子

1	中村 茉菜	早稲田 4	14:13.8
2	勝山 佳恵	茨城 2	14:21.8
3	出田 涼子	大阪 1	15:43.8
4	香取 菜穂	千葉 2	15:48.8
5	山岸 夏希	筑波 2	16:17.7
6	本間 実季	東北 4	16:19.5

第3回 2017年11月11日 岐阜県大垣市上石津町時

男子

1	種市 雅也	東京 2	14:02
2	松尾 怜治	東京 4	14:28
3	角田 貴大	横浜市立 4	14:43
4	高野 兼也	新潟 4	14:50
5	大橋 陽樹	東京 2	15:04
6	杉浦 弘太郎	名古屋 4	15:06
6	稲森 剛	横浜国立 3	15:06

女子

1	佐野 萌子	京都女子 3	13:39
2	増澤 すず	筑波 2	14:00
3	勝山 佳恵	茨城 3	14:09
4	宮本 和奏	筑波 1	14:27
5	伊部 琴美	名古屋 1	14:28
6	伊東 加織	東北 2	14:34

第4回 2018年9月15日 長野県駒ヶ根市

男子

1	桃井 陽佑	慶應義塾 3	12:21.3
2	種市 雅也	東京 3	12:51.2
3	伊藤 樹	横浜国立 4	12:59.6
4	大橋 陽樹	東京 3	13:08.2
5	上島 浩平	慶應義塾 4	13:14.2
6	伴 広輝	京都 4	13:26.3

女子

1	伊部 琴美	名古屋 2	12:13.1
2	増澤 すず	筑波 3	12:51.5
3	青代 香菜子	東北 3	13:02.2
4	出田 涼子	大阪 3	13:28.5
5	高橋 友里奈	東北 4	13:40.5
6	伊東 加織	東北 3	13:45.8

第5回 2019年11月9日 岐阜県中津川市

男子

1	小牧 弘季	筑波 3	14:42.1
2	大石 洋輔	早稲田 3	15:42.5
3	川島 聖也	神戸 4	15:44.6
4	岩井 龍之介	京都 4	15:59.9
5	椎名 晃丈	東京 3	16:24.1
6	住吉 将英	名古屋 3	16:31.3

女子

1	伊部 琴美	名古屋 3	15:00.9
2	増澤 すず	筑波 4	15:26.3
3	青代 香菜子	東北 4	16:18.1
4	香取 瑞穂	立教 3	16:19.5
5	世良 史佳	立教 3	16:44.7
6	出田 涼子	大阪 4	17:01.8

第6回 2020年12月6日 栃木県那須塩原市

男子

1	小牧 弘季	筑波 4	13:09
2	大石 洋輔	早稲田 4	13:50
3	森清 星也	早稲田 1	14:05
4	太田 知也	京都 4	14:06
5	本庄 祐一	東京 2	14:11
6	金子 哲士	東北 4	14:20

女子

1	伊部 琴美	名古屋 4	13:38
2	阿部 悠	実践女子 3	14:34
3	世良 史佳	立教 4	14:37
4	小林 祐子	東北 4	14:39
5	香取 瑞穂	立教 4	14:52
6	水上 玲奈	東北 2	15:25

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第7回 2021年11月20日 栃木県矢板市

男子

1	森清 星也	早稲田 2	14:47
2	朝間 玲羽	東京 4	15:10
3	本庄 祐一	東京 3	15:25
4	伊藤 元春	東京 4	15:28
5	入江 龍成	早稲田 3	15:32
6	菅波 崇志	筑波 3	15:40

女子

1	松本 萌恵	神戸 3	14:00
2	阿部 悠	実践女子 4	14:15
3	近藤 花保	名古屋 3	14:26
4	中神 智香	静岡 4	15:00
5	樋口 佳那	筑波 1	15:23
6	長瀬 麻里子	お茶の水女子 3	15:38

ロング・ディスタンス競技部門

第1回 1979年3月4日 東京都八王子市

男子

1	小山 格	早稲田 3	1:15:21
2	山岸 倫也	早稲田 2	1:18:17
3	清水 真一	中央 4	1:21:44
4	高尾 昭次	横浜国立 3	1:22:52
5	鈴木 規弘	東京都立 4	1:24:49
6	安藤 尚一	東京 4	1:25:56

女子

1	長田 由紀	学習院女子短期 1	1:21:23
2	井手 裕子	上智 3	1:29:47
3	上野 多佳子	千葉 4	1:31:10
4	出水 久子	青山学院 4	1:35:59
5	飯島 重子	千葉 2	1:36:48
6	江口 理恵子	筑波 2	1:52:18

第2回 1980年3月9日 埼玉県滑川村・嵐山町

男子

1	小山 格	早稲田 4	1:11:45
2	村越 真	東京 1	1:13:39
3	高尾 昭次	横浜国立 4	1:16:59
4	西田 伸一	京都 4	1:22:25
5	山岸 倫也	早稲田 3	1:24:16
6	栗田 健一	横浜国立 4	1:24:43

女子

1	飯島 重子	千葉 3	1:09:55
2	井手 裕子	上智 4	1:09:56
3	田中 和子	都留文科 3	1:12:44
4	長田 由紀	学習院女子短期 2	1:15:24
5	後藤 弥生	愛知 3	1:22:13
6	山岸 美織	大妻女子短期 1	1:22:28

第3回 1981年3月7・8日 茨城県高萩市・十王町

男子

1	村越 真	東京 2	1:19:21
2	山岸 倫也	早稲田 4	1:35:13
3	土屋 定雄	筑波 3	1:36:29
4	池田 博	横浜国立 4	1:43:15
5	今井 将也	上智 4	1:44:09
6	山本 耕史	愛知 4	1:46:20

女子

1	山岸 美織	大妻女子短期 2	1:37:01
2	飯島 重子	千葉 4	1:46:59
3	千村 敦子	横浜国立 2	1:48:25
4	原沢 範子	横浜国立 2	1:52:17
5	田中 和子	都留文科 4	1:56:58
6	広瀬 順子	筑波 4	2:00:07

第4回 1982年3月6・7日 千葉県木更津市

男子

1	村越 真	東京 3	1:27:27
2	桜井 種生	筑波 3	1:40:14
3	斉藤 和助	法政 2	1:41:30
4	土屋 定雄	筑波 4	1:42:34
5	豊島 利男	早稲田 3	1:43:20
6	宮川 達哉	早稲田 1	1:43:26

女子

1	谷津 千恵美	筑波 3	1:09:04
2	中村 敬子	法政 4	1:19:22
3	村田 容子	筑波 3	1:19:33
4	千村 敦子	横浜国立 3	1:22:34
5	高島 康代	東京女子 2	1:27:21
6	高田 智代	静岡 4	1:29:31

第5回 1983年3月5・6日 静岡県富士宮市

男子

1	村越 真	東京 4	1:16:18
2	多田 正純	筑波 4	1:29:45
3	宮川 達哉	早稲田 2	1:33:17
4	松島 寿	東北 3	1:35:31
5	赤塚 宏	京都府立 3	1:38:13
6	藤平 正敏	明治 3	1:38:16

女子

1	佐藤 和恵	千葉 2	1:13:05
2	有村 知江子	筑波 1	1:18:00
3	吉村 積子	多摩美術 2	1:19:44
4	橋本 貴子	東京 2	1:21:10
5	西村 ますみ	慶應義塾 2	1:22:10
6	堤山 真理	山口 3	1:22:17

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第6回 1984年3月3・4日 大阪府豊能町・京都府京都市

男子			女子				
1	福島 弘幸	東京 4	1:34:26	1	角田 明子	東京農工 3	1:35:59
2	宇佐美 俊哉	東京理科 4	1:47:24	2	新沢 祐子	筑波 3	1:39:14
3	斉藤 和助	法政 4	1:49:25	3	秋山 裕子	図書館情報 3	1:41:02
4	宮川 達哉	早稲田 3	1:50:28	4	佐藤 和恵	千葉 3	1:52:19
5	桜井 剛	横浜国立 2	1:50:37	5	鶴岡 千津子	千葉 2	1:57:05
6	吉田 勉	立教 2	1:50:45	6	有村 知江子	筑波 2	1:58:29

第7回 1985年3月15~17日 栃木県日光市・今市市

男子			女子				
1	塙 信弘	東京 4	1:27:54	1	角田 明子	東京農工 4	1:22:18
2	大橋 晴彦	東京 4	1:28:45	2	西村 ますみ	慶應義塾 4	1:25:48
3	斉藤 宏顕	千葉 4	1:28:46	3	新沢 祐子	筑波 4	1:27:08
4	今村 悟	早稲田 3	1:29:11	4	秋山 裕子	図書館情報 4	1:31:54
5	石原 誠一郎	千葉 3	1:30:52	5	鈴木 繁美	千葉 4	1:37:31
6	宮川 達哉	早稲田 4	1:32:06	6	鶴岡 千津子	千葉 3	1:44:38

第8回 1986年3月14~16日 長野県駒ヶ根市・高森町

男子			女子				
1	佐藤 信彦	東京 3	1:24:29	1	有村 知江子	筑波 4	1:01:01
2	稲葉 英雄	名古屋 4	1:31:21	2	吉田 千登勢	お茶の水女子 3	1:09:11
3	石原 誠一郎	千葉 4	1:34:10	3	小林 真由美	筑波 3	1:12:12
4	瀧川 英雄	神戸 3	1:34:10	4	加藤 真紀	千葉 3	1:13:16
5	今村 悟	早稲田 4	1:34:44	5	清水 裕輝子	学習院女子短期 2	1:15:23
6	戸田 淳	東京 3	1:35:06	6	杉村 綾	立教 2	1:16:52

第9回 1987年3月13-15日 愛知県蒲郡市・作手村・下山村・額田町

男子			女子				
1	瀧川 英雄	神戸 4	1:35:16	1	原 和泉	お茶の水女子 4	1:14:05
2	広江 淳良	東京 4	1:40:15	2	稲田 美穂子	筑波 4	1:17:50
3	丸山 哲史	日本体育 1	1:43:07	3	橋本 祐美子	日本女子 4	1:18:05
4	竹内 藤雄	東京農工 4	1:44:36	4	吉田 千登勢	お茶の水女子 4	1:19:40
5	柳沢 貴	千葉 4	1:45:51	5	米田 泰子	お茶の水女子 3	1:24:38
6	泉 通博	東京 4	1:46:30	6	深田 幸子	筑波 3	1:27:05

第10回 1988年3月11~13日 群馬県安中市・松井町・妙義町

男子			女子				
1	香取 伸嘉	千葉 3	1:32:35	1	深田 幸子	筑波 4	0:59:28
2	大嶽 俊秀	東京学芸 4	1:37:25	2	黒田 朱美	お茶の水女子 3	1:01:50
3	伊藤 史朗	東京 4	1:38:35	3	小久保 佐知子	お茶の水女子 3	1:07:02
4	井上 修	早稲田 4	1:39:06	4	嶋田 真弓	千葉 4	1:08:14
5	稲垣 智彦	筑波 4	1:40:17	5	谷口 恭子	津田塾 1	1:09:22
6	丸山 哲史	日本体育 2	1:40:40	6	阿部 今日子	専修 3	1:11:32

第11回 1989年3月10~12日 奈良県奈良市・桜井市・榛原町・都祁村・室生村

男子			女子				
1	井上 健太郎	大阪 4	1:31:33	1	黒田 朱美	お茶の水女子 4	1:20:05
2	伊東 真一	筑波 4	1:34:14	2	阿部 今日子	専修 4	1:21:39
3	前野 直樹	早稲田 4	1:34:32	3	渡辺 乃英	名城 3	1:23:44
4	丸山 哲史	日本体育 3	1:38:23	4	石川 正子	お茶の水女子 3	1:24:35
5	飯塚 靖	慶應義塾 4	1:38:31	5	渡辺 祐子	東京 4	1:25:10
6	羽鳥 和重	早稲田 4	1:39:33	6	田中 拓美	千葉 4	1:26:36

第12回 1990年3月16~18日 埼玉県秩父市・横瀬町

男子			女子				
1	樋口 一志	東京 4	1:13:23	1	熊林 あゆみ	筑波 3	1:03:08
2	鹿島田 浩二	東京 1	1:14:15	2	平山 寿美子	静岡 2	1:10:18
3	丸山 哲史	日本体育 4	1:16:03	3	石田 小百合	筑波 2	1:13:04
4	中村 弘太郎	京都 2	1:18:21	4	佐藤 尚子	静岡 2	1:13:53
5	宇野 裕人	横浜国立 3	1:20:14	5	田垣 尚美	日本女子 3	1:13:57
6	菊池 正昭	東北 2	1:22:35	6	濱田 由紀	千葉 2	1:14:49

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第13回 1991年3月15~17日 岐阜県中津川市・恵那市・坂下町・福岡町・川上村・長野県南木曾町・山口村

男子

1	井上 直丈	名古屋 3	1:48:55
2	中村 弘太郎	京都 3	1:50:07
3	鹿島田 浩二	東京 2	1:50:36
4	広瀬 二郎	横浜国立 4	1:52:48
5	利光 良平	駒沢 3	1:57:17
6	森 一伸	東京農業 2	2:02:27

女子

1	金子 しのぶ	横浜国立 4	1:02:04
2	熊林 あゆみ	筑波 4	1:02:36
3	岡田 光代	横浜国立 2	1:03:38
4	福士 淑子	千葉 3	1:04:58
5	田垣 尚美	日本女子 4	1:07:12
6	加納 尚子	京都女子 3	1:07:48

第14回 1992年3月13~15日 栃木県今市市・日光市

男子

1	鹿島田 浩二	東京 3	1:13:14
2	国沢 五月	一橋 4	1:15:37
3	加賀屋 博文	筑波 4	1:18:13
4	中村 弘太郎	京都 4	1:18:17
5	菊池 正昭	東北 4	1:21:39
6	井上 直丈	名古屋 4	1:21:56

女子

1	小西 陽子	筑波 3	1:07:21
2	田島 利佳	武蔵野女子短期 2	1:07:45
3	福士 淑子	千葉 4	1:09:03
4	苗村 恵子	相模女子 3	1:10:46
5	奥村 陽子	相模女子 3	1:11:39
6	岡田 光代	横浜国立 3	1:13:32

第15回 1993年3月12~14日 滋賀県大津市・土山町・志賀町

男子

1	鹿島田 浩二	東京 4	1:18:15
2	小長井 信宏	京都 4	1:19:51
3	入江 崇	東北 2	1:20:49
4	小山 博史	東北 4	1:22:21
5	高橋 政明	千葉 4	1:23:32
6	塚本 治三	早稲田 4	1:23:08

女子

1	奥村 陽子	相模女子 4	1:00:32
2	長岡 理恵	千葉 4	1:01:22
3	金田 収子	静岡 2	1:03:15
4	石川 恵美子	東北 3	1:04:51
5	渡辺 初美	日本女子 4	1:05:22
6	中野 宏美	静岡 2	1:05:35

第16回 1994年3月11~13日 群馬県渋川市・伊香保町・東村

男子

1	入江 崇	東北 3	1:19:40
2	桜井 太郎	東京 4	1:29:14
3	安斎 秀樹	東北 4	1:29:19
4	松澤 俊行	東北 3	1:30:14
5	鈴木 卓弥	東京 4	1:31:34
6	白神 謙吾	京都 4	1:32:27

女子

1	金並 由香	早稲田 4	1:03:41
2	酒井 佳子	北海道 4	1:10:30
3	金田 収子	静岡 3	1:11:13
4	志村 聡子	早稲田 3	1:12:47
5	稲村 仁美	広島 3	1:12:48
6	植田 佳子	広島 3	1:13:11

第17回 1995年3月10~12日 静岡県富士市・富士宮市・裾野市

男子

1	入江 崇	東北 4	1:22:29
2	松澤 俊行	東北 4	1:24:38
3	藤城 公久	筑波 3	1:26:43
4	内田 恵司	北海道 4	1:28:01
5	小林 哲	静岡 4	1:29:24
6	野田 昇作	北海道 3	1:30:07

女子

1	金田 収子	静岡 4	0:59:14
2	山口 純子	名古屋 3	1:01:49
3	志村 聡子	早稲田 4	1:04:31
4	三宅 朋美	津田塾 4	1:04:36
5	小山 由美子	筑波 3	1:06:12
6	林 ゆかり	筑波 3	1:06:22

第18回 1996年3月8~10日 栃木県今市市・日光市

男子

1	藤城 公久	筑波 4	1:17:50
2	山口 大助	千葉 2	1:19:14
3	柿並 義宏	東北 4	1:20:17
4	野田 健史	東北 4	1:20:47
5	大西 淳一	東京 4	1:20:55
6	世古口 裕史	東京工業 3	1:22:30

女子

1	中村 正子	筑波 3	1:02:59
2	小山 由美子	筑波 4	1:03:39
3	小林 るみ子	新潟 3	1:07:04
4	山本 康世	国際基督教 4	1:07:36
5	原 志保子	静岡 4	1:08:40
6	片岡 由起子	筑波 4	1:08:50

第19回 1997年3月7~9日 奈良県奈良市・桜井市・榛原町・都祁村

男子

1	太田 晃弘	東京 4	1:21:13
2	寺内 亮太	東北 4	1:21:31
3	白土 英治	東北 3	1:22:38
4	美濃部 篤	筑波 3	1:22:39
5	出島 秀一	東北 4	1:23:28
6	羽柴 公貴	早稲田 4	1:25:37

女子

1	中村 正子	筑波 4	1:04:01
2	小林 るみ子	新潟 4	1:08:02
3	堀出 知里	筑波 3	1:13:16
4	丹羽 美智子	東北 3	1:17:14
5	池田 祐子	北海道 4	1:17:38
6	堀井 亜紀	筑波 3	1:18:11

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第20回 1998年3月6~8日 茨城県高萩市・里美村

男子			女子			
1	佐藤 時則	東北 4	1:23:18	1	金子 恵美 東京女子 4	1:09:29
2	石井 泰朗	東北 3	1:23:25	2	渡辺 円香 筑波 4	1:13:53
3	土屋 周史	京都 4	1:23:46	3	佐々木 峰子 筑波 4	1:14:08
4	近藤 貴文	東京 4	1:25:26	4	大谷 由樹 筑波 3	1:16:19
5	小暮 喜代志	筑波 4	1:30:01	5	堀井 亜紀 筑波 4	1:16:43
6	斉藤 創一	筑波 4	1:31:01	6	河野 みどり 北海道 4	1:17:53

第21回 1999年3月12~14日 山口県山口市・秋芳町・美東町

男子			女子			
1	石井 泰朗	東北 4	1:13:04	1	大谷 由樹 筑波 4	1:08:08
2	村上 健介	筑波 4	1:13:11	2	安井 千晶 京都橘女子 4	1:08:24
3	小野田 雄介	東北 3	1:18:34	3	佐藤 渚 京都橘女子 4	1:09:35
4	内山 裕史	東京 3	1:19:06	4	塩田 美佐 筑波 2	1:12:38
5	水嶋 孝久	静岡 4	1:20:20	5	小林 啓恵 東北 2	1:13:22
6	篠原 岳夫	筑波 3	1:20:58	6	上松 佐知子 筑波 2	1:13:59

第22回 2000年3月10~12日 栃木県今市市・日光市

男子			女子			
1	高橋 善徳	筑波 4	1:29:08	1	小林 啓恵 東北 3	1:08:34
2	篠原 岳夫	筑波 4	1:30:51	2	上松 佐知子 筑波 3	1:11:50
3	小野田 雄介	東北 4	1:31:23	3	塩田 美佐 筑波 3	1:15:50
4	安井 真人	早稲田 3	1:33:06	4	番場 洋子 京都 2	1:16:29
5	内山 裕史	東京 4	1:33:11	5	近藤 寛子 国際基督教 4	1:25:06
6	紺野 俊介	早稲田 3	1:33:22	6	深沢 博子 東京農工 4	1:26:33

第23回 2001年3月9~11日 愛知県作手村・新城市

男子			女子			
1	安井 真人	早稲田 4	1:10:55	1	番場 洋子 京都 3	0:57:01
2	金澤 拓哉	東北 3	1:11:05	2	小林 啓恵 東北 4	1:00:56
3	紺野 俊介	早稲田 4	1:11:17	3	横江 君香 京都橘女子 4	1:02:20
4	許田 重治	京都 3	1:16:44	4	上松 佐知子 筑波 4	1:03:38
5	加藤 弘之	東京 3	1:16:44	5	塩田 美佐 筑波 4	1:04:25
6	猪飼 雅	金沢 4	1:19:53	6	池田 和香子 東北 4	1:05:13

第24回 2002年3月8~10日 栃木県矢板市・塩谷町

男子			女子			
1	小泉 成行	筑波 4	1:11:34	1	番場 洋子 京都 4	1:05:24
2	許田 重治	京都 4	1:14:06	2	宮内 佐季子 京都 1	1:05:37
3	金澤 拓哉	東北 4	1:14:16	3	石川 裕理 京都 3	1:13:16
4	大嶋 真謙	北海道 4	1:14:35	4	大塚 泰恵 金沢 2	1:17:42
5	青木 博人	東京 2	1:16:30	5	山本 真美 東京女子 4	1:23:20
6	佐々木 良宣	筑波 3	1:18:16	6	高橋 ひろみ 慶應義塾 4	1:24:10

第25回 2003年3月7~9日 愛知県東加茂郡下山村

男子			女子			
1	禪洲 拓	東北 4	1:24:47	1	宮内 佐季子 京都 2	1:09:56
2	西尾 信寛	京都 4	1:25:51	2	石川 裕理 京都 4	1:11:25
3	吉田 武生	京都 3	1:25:55	3	黒河 幸子 筑波 4	1:16:38
4	小熊 武彦	東京 3	1:28:49	4	姫野 祐子 東北 3	1:20:24
5	浜田 尚	東北 2	1:29:19	5	田島 聖子 東京女子 4	1:20:27
6	李 敬史	静岡 3	1:29:22	6	花木 睦子 千葉 2	1:27:53

第26回 2004年3月12~14日 三重県名張市・名賀郡青山町

男子			女子			
1	寺垣内 航	早稲田 4	1:06:16	1	姫野 祐子 東北 4	0:58:51
2	久野 雄介	東京 4	1:08:24	2	高野 麻記子 筑波 4	1:00:54
3	櫻本 信一郎	東北 4	1:09:35	3	浅井 千穂 京都 4	1:00:57
4	新宅 有太	京都 4	1:10:56	4	皆川 美紀子 東京農工 4	1:02:51
5	吉田 武生	京都 4	1:11:06	5	桑野 文 京都橘女子 3	1:07:13
6	山下 智之	東京農工 3	1:11:13	6	若木 まりも 京都 4	1:08:45

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第 27 回 2004 年 11 月 7 日 愛知県東加茂郡下山村・額田郡額田町

男子

1	坂本 貴史	筑波 4	1:22:57
2	高橋 雄哉	図書館情報 3	1:23:07
3	前田 裕太	東京工業 4	1:24:41
4	後藤 大輔	東北 3	1:26:13
5	小野田 剛太	京都 4	1:27:04
6	山下 智之	東京農工 4	1:27:10

女子

1	原 直子	東京女子 3	1:05:43
2	朴峠 周子	日本女子 3	1:13:54
3	峯村 綾香	奈良女子 3	1:16:06
4	志度 裕子	東京農工 3	1:19:33
5	桑野 文	京都橘女子 4	1:20:30
6	塚八 ゆかり	京都橘女子 4	1:21:16

第 28 回 2005 年 11 月 6 日 愛知県新城市

男子

1	高橋 雄哉	図書館情報 4	1:19:52
2	後藤 大輔	東北 4	1:23:10
3	大西 康平	京都 3	1:23:49
4	山崎 貴彦	東京 3	1:25:16
5	小林 隆昭	千葉 4	1:25:34
6	永井 亮	東北 3	1:26:07

女子

1	原 直子	東京女子 4	1:05:00
2	朴峠 周子	日本女子 4	1:05:57
3	築山 絢	早稲田 4	1:07:00
4	森澤 寿理	奈良女子 4	1:07:20
5	志度 裕子	東京農工 4	1:08:43
6	橋本 陽子	日本女子 4	1:10:57

第 29 回 2006 年 9 月 17 日 長野県駒ヶ根市

男子

1	茂木 堯彦	東京 3	1:22:14
2	大西 康平	京都 4	1:24:17
3	西村 徳真	京都 3	1:25:18
4	藤沼 崇	新潟 4	1:27:18
5	津國 真敏	京都 4	1:27:43
6	杉山 尚徳	東北 3	1:28:59

女子

1	米谷 法子	東京農工 4	1:04:13
2	中島 亜香音	静岡 4	1:08:12
3	幸村 和美	岩手 4	1:12:25
4	井手 恵理子	日本女子 3	1:12:28
5	白倉 由紀	岩手 3	1:15:16
6	阿部 ゆかり	東北 2	1:17:15

第 30 回 2007 年 11 月 11 日 栃木県日光市

男子

1	日下 雅広	東北 3	1:25:06
2	西村 徳真	京都 4	1:25:30
3	茂木 堯彦	東京 4	1:26:51
4	長縄 知晃	東北 4	1:27:04
5	小山 温史	東京工業 4	1:27:18
6	林 泰斗	東北 4	1:28:15

女子

1	関谷 麻里絵	京都 3	1:02:46
2	千葉 妙	筑波 4	1:12:06
3	稲葉 茜	筑波 4	1:14:14
4	井手 恵理子	日本女子 4	1:14:33
5	笠原 綾	日本女子 4	1:14:47
6	松永 真澄	日本女子 3	1:17:13

第 31 回 2008 年 11 月 2 日 愛知県新城市

男子

1	日下 雅広	東北 4	1:15:07
2	崎田 孝文	名古屋 4	1:15:36
3	林 城仁	東京 4	1:18:32
4	太田 貴大	東北 4	1:21:00
5	久米 航	東北 4	1:22:45
6	片岡 裕太郎	名古屋 3	1:24:17

女子

1	関谷 麻里絵	京都 4	1:05:25
2	阿部 ゆかり	東北 4	1:07:53
3	松永 真澄	日本女子 4	1:09:42
4	永田 有佳里	相模女子 3	1:15:16
5	柴田 彩名	椋山女学園 2	1:18:08
6	後藤 未妃	宮城学院女子 3	1:19:35

第 32 回 2009 年 11 月 22 日 栃木県矢板市

男子

1	小林 遼	東京 3	1:19:12
2	岡本 将志	早稲田 3	1:22:04
3	林 真一	名古屋 4	1:22:19
4	片岡 裕太郎	名古屋 4	1:23:00
5	谷川 友太	名古屋 4	1:23:10
6	神谷 泰介	筑波 4	1:24:23

女子

1	高野 美春	十文字学園女子 3	1:01:53
2	山本 紗穂里	筑波 3	1:08:06
3	田村 蓉子	東京工業 2	1:08:16
4	星野 智子	津田塾 2	1:08:25
5	柴田 彩名	椋山女学園 3	1:08:55
6	新井 宏美	新潟 3	1:09:14

第 33 回 2010 年 11 月 21 日 奈良県宇陀市・桜井市

男子

競技不成立

女子

競技不成立

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第 33 回再競技 2011 年 2 月 5 日 栃木県日光市

男子

1	小林 遼	東京 4	1:15:23
2	結城 克哉	東京 2	1:15:35
3	山上 大智	東京 4	1:15:40
4	松井 健哉	名古屋 4	1:21:09
5	三谷 洋介	東京 2	1:23:09
6	矢野 貴裕	東京 4	1:23:32

女子

1	高野 美春	十文字学園女子 4	1:14:33
2	新井 宏美	新潟 4	1:15:24
3	水野 日香里	椛山女学園 4	1:18:17
4	佐野 まどか	東北 3	1:18:17
5	柴田 彩名	椛山女学園 4	1:22:18
6	田代 祐香里	日本女子 4	1:22:47

第 34 回 2011 年 11 月 6 日 長野県松本市

男子

1	結城 克哉	東京 3	1:30:21
2	立川 悠平	新潟 4	1:33:52
3	関 淳	東北 2	1:35:31
4	野本 圭介	筑波 1	1:38:03
5	田邊 拓也	東北 4	1:38:41
6	中村 憲	東北 3	1:38:49

女子

1	高橋 美誉	岩手 2	1:07:24
2	芦澤 咲子	相模女子 3	1:10:48
3	沢田 慧	東北 2	1:12:41
4	畠山 真紀	岩手 3	1:15:37
5	大河内 恵美	横浜市立 2	1:16:25
6	堀口 奈保	東北 2	1:16:50

第 35 回 2012 年 12 月 2 日 静岡県富士市

男子

1	結城 克哉	東京 4	1:01:05
2	真保 陽一	東京 3	1:01:06
3	尾崎 弘和	早稲田 2	1:01:14
4	福井 直樹	大阪 3	1:05:32
5	宮西 優太郎	東北 1	1:06:32
6	堀江 悟	名古屋 3	1:06:46

女子

1	稲毛 日菜子	お茶の水女子 2	0:48:33
2	宮川 早穂	立教 1	0:53:24
3	田中 千晶	お茶の水女子 3	0:57:23
4	芦澤 咲子	相模女子 4	1:00:04
5	大河内 恵美	横浜市立 3	1:01:38
6	高橋 美誉	岩手 3	1:02:31

第 36 回 2013 年 10 月 13 日 静岡県富士市

男子

1	尾崎 弘和	早稲田 3	1:18:17
2	菅野 敬雅	東北 4	1:22:06
3	真保 陽一	東京 4	1:22:52
4	杉村 俊輔	東北 3	1:24:26
5	深田 恒	東京 2	1:24:37
6	福井 悠太	東京 2	1:25:15

女子

1	稲毛 日菜子	お茶の水女子 3	0:58:37
2	高橋 美誉	岩手 4	1:07:39
3	大河内 恵美	横浜市立 4	1:17:26
4	横山 理恵	金沢 4	1:18:03
5	伊東 瑠実子	東京 2	1:19:40
6	守屋 舞香	椛山女学園 2	1:25:03

第 37 回 2014 年 10 月 12 日 福井県あわら市

男子

1	松下 睦生	京都 4	1:16:24
2	糸賀 翔大	東京 4	1:20:48
3	深田 恒	東京 3	1:22:03
4	福井 悠太	東京 3	1:23:29
5	尾崎 弘和	早稲田 4	1:25:26
6	嶋岡 雅浩	名古屋 4	1:25:53

女子

1	稲毛 日菜子	お茶の水女子 4	1:01:55
2	宮川 早穂	立教 3	1:08:13
3	伊東 瑠実子	東京 3	1:18:24
4	五味 あずさ	金沢 3	1:28:58
5	増田 七彩	東京 2	1:34:51
6	宮田 優花	筑波 3	1:35:26

第 38 回 2015 年 10 月 4 日 長野県諏訪郡富士見町

男子

1	稲森 剛	横浜国立 1	1:11:48
2	宮西 優太郎	東北 4	1:12:04
3	久保田 皓貴	慶應義塾 2	1:12:33
4	田中 基士	横浜市立 4	1:12:35
5	五百倉 大輔	京都 4	1:13:11
6	滝川 真弘	東北 3	1:13:26

女子

1	五味 あずさ	金沢 4	0:55:57
2	守屋 舞香	椛山女学園 4	0:57:17
3	伊東 瑠実子	東京 4	1:00:06
4	宮川 早穂	立教 4	1:00:11
5	松田 沙也加	岩手 4	1:00:18
6	山岸 夏希	筑波 1	1:02:21

第 39 回 2016 年 11 月 20 日 栃木県矢板市・塩谷町

男子

1	稲森 剛	横浜国立 2	1:19:08
2	猪俣 祐貴	東京 4	1:19:14
3	橋本 正毅	東北 4	1:26:05
4	伊藤 樹	横浜国立 2	1:26:25
5	井倉 幹大	東京 4	1:27:11
5	橋 孝祐	横浜国立 4	1:27:11

女子

1	勝山 佳恵	茨城 2	1:07:45
2	山岸 夏希	筑波 2	1:08:50
3	田中 圭	武蔵野 4	1:09:08
4	香取 菜穂	千葉 2	1:09:17
5	中村 菜菜	早稲田 4	1:11:58
6	伊佐野 はる香	東北 2	1:12:16

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第40回 2017年11月12日 岐阜県不破郡関ヶ原町

男子

1	松尾 怜治	東京 4	1:09:49
2	佐藤 俊太郎	東北 4	1:11:29
3	稲森 剛	横浜国立 3	1:12:38
4	種市 雅也	東京 2	1:13:27
5	宮本 樹	東京 3	1:15:23
6	糸 潤哉	東京 4	1:16:19

女子

1	勝山 佳恵	茨城 3	0:56:22
2	増澤 すず	筑波 2	0:58:37
3	白井 沙耶香	東北 3	1:01:24
4	宮本 和奏	筑波 1	1:02:07
5	長崎 早也香	名古屋 4	1:05:38
6	出田 涼子	大阪 2	1:07:23

第41回 2018年9月16日 長野県駒ヶ根市

男子

1	柴沼 健	早稲田 4	1:17:39
2	種市 雅也	東京 3	1:17:49
3	大橋 陽樹	東京 3	1:22:48
4	濱宇津 佑亮	東京 4	1:22:57
5	佐藤 遼平	東京 4	1:23:18
6	稲森 剛	横浜国立 4	1:25:09

女子

1	増澤 すず	筑波 3	0:58:32
2	勝山 佳恵	茨城 4	1:00:54
3	伊部 琴美	名古屋 2	1:01:08
4	香取 菜穂	千葉 4	1:02:14
5	伊佐野 はる香	東北 4	1:03:47
6	香取 瑞穂	立教 2	1:04:08

第42回 2019年11月10日 岐阜県中津川市

男子

1	大橋 陽樹	東京 4	1:04:40
2	小牧 弘季	筑波 3	1:04:52
3	種市 雅也	東京 4	1:09:02
4	北見 匠	東北 4	1:09:46
5	椎名 晃丈	東京 3	1:14:53
6	岩井 龍之介	京都 4	1:14:57

女子

1	宮本 和奏	筑波 3	1:13:19
2	伊部 琴美	名古屋 3	1:13:28
3	小林 祐子	東北 3	1:13:58
4	香取 瑞穂	立教 3	1:13:59
5	増澤 すず	筑波 4	1:14:32
6	世良 史佳	立教 3	1:15:44

第43回 2020年10月18日 栃木県矢板市

男子

1	小牧 弘季	筑波 4	1:16:34
2	朝間 玲羽	東京 3	1:21:54
3	平岡 丈	京都 2	1:22:00
4	太田 知也	京都 4	1:23:09
5	二俣 真	京都 2	1:23:41
6	大石 洋輔	早稲田 4	1:24:02

女子

1	伊部 琴美	名古屋 4	1:03:19
2	阿部 悠	実践女子 3	1:03:33
3	宮本 和奏	筑波 4	1:04:58
4	世良 史佳	立教 4	1:06:50
5	香取 瑞穂	立教 4	1:09:32
6	小林 祐子	東北 4	1:11:35

第44回 2021年11月21日 栃木県矢板市・塩谷郡塩屋町

男子

1	平岡 丈	京都 3	1:13:50
2	二俣 真	京都 3	1:14:17
3	伊藤 元春	東京 4	1:15:08
4	朝間 玲羽	東京 4	1:16:05
5	森清 星也	早稲田 2	1:16:21
6	今野 陽一	東北 4	1:21:08

女子

1	阿部 悠	実践女子 4	0:58:10
2	長瀬 麻里子	お茶の水女子 3	1:10:40
3	近藤 花保	名古屋 3	1:12:31
4	上島 じゅ菜	お茶の水女子 3	1:14:01
5	永山 尚佳	神戸 4	1:15:23
6	岩崎 佑美	慶應義塾 4	1:15:37

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
詳細

ロング詳細

チーム
オフィシャル

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

課題解決 + フォルテ



[位置情報]と[骨伝導]で、より豊かな生活へ。

フォルテGPS (FB) で「位置」の解決



山車



除雪車



配達員

フォルテ骨伝導 (VOCE-rable) で「音」の解決



スポーツ



製造工場



難聴対策

フォルテアプリでスマホがもっと便利に



ガイドアプリ



翻訳アプリ

事例集・パンフレット、
お見積のお問合せは
こちらまで！



株式会社フォルテ 東京支店

担当: 相馬 (info@forte-inc.jp)

HP: <http://www.forte-inc.jp/>

SNS: <https://www.facebook.com/aomori0forte/>



つめたいから、 あたたかくなれる。

できたてのアツアツを凍結させたり。
食材を冷凍して長持ちさせたり。
氷が大好きなペンギンくんたちも
ビックリの凍らす力で、おいしさを生みだす。
それがニチレイの「冷力(れいりょく)」です。
ニチレイは、この「冷力」をつかって、
さまざまな事業を展開しています。
新しいアイデアで生みだした健康的なおいしさを、
日本最大の低温物流ネットワークで、今日もあなたの食卓へ。
これからもニチレイはおいしさを、
みんなのあたたかい笑顔につなげていきます。

<http://www.nichirei.co.jp/>



おいしい瞬間を
届けたい

日本学生 オリエンテーリング 選手権大会 インカレスプリント・ロング 無料ライブ配信

ダウンロードこちらから！



大学スポーツ観戦アプリ

UNIVAS PLUS

powered by **au** 5G

見逃し配信も 要チェック!!



TOMOYA
MURAI



KAKO
WASHIZU



DAIKI
NISHIHARA



MISATO
KIKUCHI



RYUTA
INAGE



MINA
IWAKI



東北大学の旗は翻る

SHUNSUKE
HANE



RENA
MIZUKAMI



YUKI
KASAI



NAOMI
MIYAZU



WATARU
HORIGUCHI



AKIHO
HAYASHI



青葉会は東北大学学友会オリエンテーリング部を応援しています



S/L
平岡
丈



S/L
二俣
真

京大京女立命

駆け抜ける!



S/L
石原
潮人



S/L
落合
英那



L
向井
悠真



L
重岡
慧実



L
徳力
雅哉



L
原
万尋



L
角田
和貴



L
吉仲
瑞貴



S
毛利
智紀



S
井上
匠梧

①1~4回生の部員全員に向けて:インカレというお祭りを楽しもう!仲間を全力で応援しよう!!オリエンテーリングを心から楽しもう!!インカレ・仲間の応援・オリエンテーリング、それらは最高に楽しいもので、そのすべてを同時に味わうことは大学生の「今」しかできないかけがえのない時間です。

②インカレに向けて頑張ってきた人に向けて:最大限の準備をしたならば、不安に思う必要はなし。「準備不足かな…」と思ったとしても、それは他の人も案外同じ。最後は根拠のない自信でいいから「まあ、いけるやろ」という自信をもって、スプリントとロングのナビゲーションに没頭しよう。そうしたらインカレという舞台を最大限味わい尽くせる!

和佐田祥太朗(40期)

今年度最初のインカレが始まりますね。現役生の皆様は、秋インカレに向けてそれぞれの目的に即した準備を重ねて来たと思います。大会当日は、重ねて来た準備に対する自信と、出来なかったことに対して割り切る気持ちとを持ち、精一杯レースを楽しんでいただけだと思います。

現地で応援できないことが非常に悔やまれますが、相模原から画面越しに応援しています。

伊藤良介(40期)

インカレの意味は人それぞれです。存分に楽しみ、それぞれの目標や目的を達成して帰って来てください!!
金澤晴樹(40期)

全国大会は青春の定番です! 全力で楽しんでください!
徳地研人(39期)

怪我なく帰還されることを祈っております。楽しんで頑張ってください!応援してます。(コロナにも気を付けて!)
角谷侑香(39期)

レースに没頭しよう。インカレで見た光景がきっと糧となる。
大野絢平(38期)

全力で頑張ってください!!!応援してます。
小池椋介(38期)

ひとりひとり、思い出を刻みましょう!
藤本拓也(38期)

晴れ舞台を堂々と楽しんでください。
五百倉大輔(34期)

自分を信じて走り抜け!
宮本佳記(29期)

いざ決戦の時！積み上げてきた努力と、支えてくれた人達の思いを結晶に！

4期 大橋晴彦

コロナに耐えた。その力を解放せよ！健闘を祈ります。

13期 佐々木順

応援しています！頑張ってください！

27期 石蔵友紀子

レースは自分のために、結果は皆のために、全力で次のポストを目指せ！

27期 茂木亮彦

全力で駆け抜けて、全力で楽しんで！最高の舞台で最高の思い出を。頑張れ、十文字！頑張れ、OLK！

30期 長縄美春（高野）

自分を信じて、最後まで前を向いて全力で！OLKで、インカレでしか感じられないものを思う存分味わってください。

32期 堀田 遼

後から、悪くないインカレだったって思い返せたら、それはきっと良いインカレ。がんばれ！

38期 新田見優輝

今の自分の全力が出せるよう、本番でも落ち着いて自分のレースを！応援しています。

38期 大田将司

大学生の間しか出られない貴重な大会を全力で楽しんでください。

38期 出原優一

今年は梅雨も短くて暑い日が続きました。トレーニングの日々は大変だったと思います。涼しいハケ岳で力強い走りを見せてくれるのを楽しみにしています。頑張れ！

39期 石田晴輝

自分の全力を出し切れ！いつもよりも少しだけ頑張ってみよう。

39期 比企野純一

待ちに待ったインカレの舞台ですね。参加する皆さんが全力を出し切って、それぞれの目標を達成できることを願っています。OLK ファイト！

39期 飯田泰史

皆の頑張りが秋インカレで発揮できますように！応援しています！！

40期 栗本美緒

自分を信じて走り切ってください！それぞれの目標の達成を応援しています！

40期 池田直樹

やるべきことを、淡々と、真剣に。いいインカレにしましょう！

40期 柏田芳樹

インカレは学生（学連登録4年間）だけの特権です。自分のレースはもちろん、応援も思いっきり楽しんで来てね！誰かが言っていた。心は熱く、頭は冷静に。

41期 佐藤加奈

追い込んで追い込んで1秒でも早くゴールしてください

41期 朝間玲羽

一本集中、頑張って！

41期 池ヶ谷みのり

めっちゃめっちゃめっちゃがんばってください！

41期 鈴木日菜



インカレは楽しんでも勝ち！運営しながら応援しています。

32期 結城克哉

貴重な8分の1を大切に、全力で、挑んでください！

33期 石野夏幹

1人ひとりがオリエンテーリングの楽しさを再確認できる大会になると良いと思います。体調に気をつけて、元気に当日を迎えてください。みなさんの健闘を祈ります(^o^)！

33期 福吉桜子

競技、応援、初めての大舞台、色んな楽しみや醍醐味があると思います。2日間、皆のために用意された特別な空間を満喫してください！

34期 稲毛日菜子

ひとりよがりになっているならば、チームのために。まわりばかり気にしてしまったら、自分のために。Do your best！

35期 糸早穂

自分にとって大事なことを大切に、楽しんでいこう！

37期 瀬川出

今までやってきたことを、いつもどおり、最後まで全力で、この舞台を楽しんで！

37期 松尾怜治

二度とない2日間を全力で楽しんでください！

37期 平山遼太

今日までの積み重ねを頼りに、力一杯挑んでください。報われに行こう。

39期 高見澤翔一

今年も無事に秋インカレが開催されることになりましたが、大会開催は決して当たり前ではありません。何の為に闘うのか、一人一人が明確に意識を持って、悔いの残らないよう最後まで走り抜いて下さい。応援しています！

39期 後藤幸大

インカレで、一人一人がこれまで培ってきた力を存分に発揮できることを願っています。ファイト！！

39期 佐藤 公洋

楽しみましょう

40期 根本夏林

大舞台ですが、慌てず冷静に、そして楽しんでほしいなと思います！がんばれ〜！！

40期 森川周

後悔しない走りを。全力で頑張ってきて下さい！

40期 世良史佳

レース後、一緒に笑ったり泣いたりできることを楽しみにしています。がんばれ！行ってらっしゃい！

40期 小林瑠衣紗

人に感わされず、悔いのないレースを！応援しています！

40期 香取瑞穂

頑張れ、 東大OLK 杏友会一同

1レース、1レグを大切に、最後に楽しかったって笑顔で終われるレースができるように応援しています！頑張ってください！！

41期 阿部悠

心は熱く、頭は冷静に。最後まで妥協せずに走りきれ！

41期 伊藤高真

各人の思い出に残るインカレになるように願っています。がんばってください！

41期 有澤達哉

最後まで諦めるな！

41期 藤原悠平

自分の実力を最大限発揮してきてください！そして特に今年が最後の42期、勝ち切ってきてください！

41期 伊藤元春



吉田栞里



今井里奈



近藤花保



杉浦野乃子



秋澤実乃里



山本ひより



牧花音



中野友貴

勇気と気合いで いざ挑め!



行くぞ 名楯 OLC バリバリエンジョイ&タフ!!

名楯 OB・OG は、名古屋大学・名古屋工業大学・椋山女学園大学の活躍を願っています。



鈴木海斗



森隆志



櫻井千尋



内藤駿



館直輝



市川礼人



鈴木忘輔



島田智也



栗山ももこ
(横浜市立大学)



太矢敦士
(信州大学)

ホームゲーム によろこそ



樋口佳那
(筑波大学)



鎌倉京平
(筑波大学)



小林聖矢
(明治大学)



高塚碩己
(千葉大学)



井崎竜之介
(横浜国立大学)

長野県オリエンテーリング協会

醒めて起て 筑波大学



■地図と自分だけ、そんな贅沢な時間を楽しんでください！！

(田中基成・地球2013)

■Enjoy yourself!

(野本圭介・社会学2011)

■楽しんでこ〜!

(宮本和奏・地球2017)

■ベストを尽くして頑張ってください

(根本啓介・体育2017)

■生涯の中でここまで一生懸命に応援できる機会はインカレくらいです。打ち込んだことを思いっきりぶつけてみましょう。

(盛田彰宏・自然1993)

■輝け!

(小牧弘季・生物資源2017)

■二度と来ないこの一瞬に、笑顔で全力で!

(谷野文史・生物資源2017)

■森を駆けろ!

(後藤孔要・工学システム2011)

■インカレという舞台を楽しんで!

(楠健志・地球2015)

■ラス前くらいで450mくらいの舗装道登り坂ダッシュがあったとしても、みんなの応援を武器に走りきってください!

(直井萌香・地球2013)

■強い筑波を見せてください!

申し訳ないですが結構期待してます!

(森恒大・生物2018)

■クールな君も今だけは“アツク”になりませんか?

(村田千真・応用理工2018)

■長〜い登りは気合で、長〜い下りは集中力を維持して、いつもと変わらない平常心で颯爽と激走してください。応援しています!

(武藤拓王・基礎工学1984)

■いける! やれる! 勝てるぞ!!!

(鳩力乃介・比較文化2016)

■とにかく楽しんで!

(佐野響・工学システム2016)

■斜面に負けるな自分に負けるなー! 筑波強いぞ!!

(山岸夏希・体育2015)

■最後までナビゲーションを切らさない!!

(増澤すず・比較文化2016)

■エリートの人でもそうじゃない人も全力で楽しんで!

(鈴木大喜・社会学2016)

■応援してます!!!

(佐久間若菜・芸術2017)

■「いつも通り」を最後まで、全力で!

(小竹佳穂・生物資源2016)

■無理をしすぎず、自分らしい後悔しない走りを!

(河北拓人・社会学2016)

■集中するとは何か? よく考えて臨んでください!

(小泉成行・自然1998)

■インカレのためにやってきたこと、想いを馳せた時間、

その全てを信じて突き進め! Can☆Do!

(名雪青葉・体育2018)



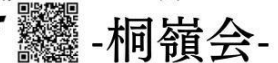
9/25 CC7(ブランシュたかやま)での記念写真
代表チームは学生チームの中で1位! また部員全員が
ペナなし、繰り上げなしと実力を十分に発揮しました。
インカレでは選手権クラス/一般クラスどちらも筑波から
目が離せない!!

選手権クラス出場選手

左上から永山遼真(体育4), 祖父江有裕(地球4), 佐藤隆奈
(生物4), 菅波崇志(資源4), 平岩伊武季(生物4), 鎌倉京平
(地球3), 谷口瑞樹(情科2), 樋口佳那(資源2), 山崎葵(資源
1), 藤原考太郎(比文1)

筑波大学オリエンテーリング愛好会

筑波大学オリエンテーリング部 OBOG会



がんばれ！ES関東クラブ

浦中美里
長瀬麻里子

坂根歩実
藤澤達也

寺嶋謙一郎
堀井聡一郎



KOLC、きみたちは強い



最高の舞台で、オリエンテーリングとインカレを楽しんで下さい。
応援しています。

15期 小泉

インカレを味わい尽くしてください。応援しています。

44期 東

走った後に皆さん自身が満足できるレースになるよう応援しています。

46期 和田

僕らの思い出の地で、

現役の皆さんの新しい思い出が作られることを願います。頑張れ！

47期 濱野

全力で楽しんで！応援しています。

47期 村田

晴れ舞台、全力で楽しんでください！

48期 古谷

全力で熱いインカレにして下さい！皆さんの活躍を楽しみにしています。

48期 戸澤

日々のトレーニングの成果を発揮するのももちろんですが、
インカレという舞台でのオリエンテーリングをぜひ楽しみましょう！

48期 西下

登りに負けずに！応援しています。

48期 藤原

レースも応援も準備も、楽しみ尽くしてください！

49期 田村

努力はどんな形でも報われる。

49期 井上

心臓飛び出るくらい走ってください。

50期 田淵

不安、緊張、後悔、嫌な事全てを忘れて1レックに没頭！

50期 阿部

オリエンを楽しもう！

インカレは皆さんが輝ける最高の舞台です。
全力を出して、楽しんで下さい！

40期 小室

一瞬一瞬を是非大切に。全力で楽しんで下さい。

45期 田中

富士見高原はKOLCに縁があるところだと思っています。

今回もKOLC旋風を起こしてください！

46期 吉澤

成功体験を思い出して、良かったレースを再現しよう。応援しています！

47期 伊藤

陰ながら応援しています。頑張れ、KOLC！！

47期 平松

4年生の粘り強い走りに期待しています。

48期 上村

準備してきた事を信じて、自信を持って臨んで下さい。応援しています！

48期 桃井

今日まで戦ってきた自分を裏切らないように、
ゴールパンチするまで全力で頑張ってください。

48期 清水

常に熱く冷静に、できることをやろう。準備も本番も。

49期 江野

今まで積み重ねてきたものが発揮出来ますように！頑張れー！

49期 濱野

最高の舞台を最高に楽しもう！

49期 津田

自分を信じて走り切れ！みんなが待ってる！

50期 岩崎

最初から最後まで、すべてを楽しんだ人が強いです。

50期 伊藤

KOLC OB/OG 一同



OLCルーパーはICSL2022を応援しています



祖父江有祐
筑波4



近藤花保
名古屋4



今井里奈
梶山4



ENJOY & RUN
悔いのない走りを!



落合英那
京都1



藤原孝太郎
筑波1

現役学生・卒業生も大歓迎！新規会員募集中！

- ・主な拠点は愛知・岐阜・三重
- ・大会/練習会参加、根の上高原大会運営、応援企画など随時開催

URL : <https://www.olg-looper.com/>

- ・目標を持ってインカレを目指せば「オリエンテーリングは、もっとおもしろい。」OLTの皆さん、全力でインカレを楽しみましょう！(16期 奥田)
- ・インカレでオリエンテーリングの楽しさと感動を存分に味わってください！(27期 村上)
- ・最後まで自分を信じて走り抜けろ！(27期 小山)
- ・最高のレースを期待してます！頑張れ！！(34期 徳増)
- ・全力を出し切って悔いのないインカレにしてください！(36期 砂原)

- ・「弱気は最大の敵」自信を持って前へ！(37期 檜脇)
- ・インカレを存分に楽しんで！(40期 小寺)
- ・レースも応援もインカレの全てを楽しめ！(40期 豊澤)
- ・最後まで諦めずに頑張れ！(41期 宮川)
- ・久々のインカレの舞台を楽しみましょう。健闘を祈ります。(41期 倉田)
- ・全力で落ち着いて！(41期 大場)
- ・みんなが主役の舞台です。何よりもオリエンテーリングを楽しんで！(41期 若月)



山崎嘉津人
(4年)



頑張れ 東工大



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology



東工大OLT OB・OG会 つばめ会一同



猪股 紗如
(千葉4)



相馬 哲兵
(東京4)

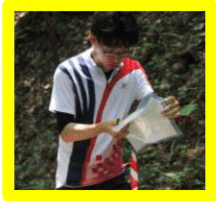


根本 浩平
(早稲田2)

走れ!!
千葉!!!



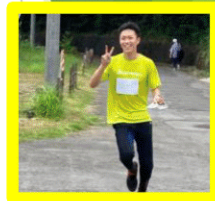
寺町 俊輝
(千葉3)



八房 穰
(千葉2)



高塚 碩己
(千葉2)



千葉 颯
(千葉1)



京葉OLクラブ創立45周年記念大会 (2/19)

「君津糸川」を30年ぶりにリメイクした
本格ミドルを提供!!
千葉大大会(2/18)と千葉2Days、是非合
わせてお越しください!!

KOLA(岸和田オリエンテーリング協会)～楽しいことをより楽しく～



公式HP



Twitter



葛実(京都大)



優那(京都女子大)



頑張れ！千葉大！



鳩の会は千葉大OLCを応援しています



3年 大六野祐斗



3年 森下遥



3年 真家遼介 1年 小野萌菜 4年 崎原美咲紀

橋本 遼佑

Hashimoto Ryosuke

神戸高专 3

ペナらなければ
君は速い！



インカレに青春を注ぐ

すべての学生を応援しています



勝利の美酒を、一緒に。

OLP兵庫

新メンバー募集中



@OLP_Hyogo

横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY
横浜市立大学オリエンテーリング部

宮澤海帆
力丸航
美濃部駿
松本芽衣
栗山ももこ

勇往邁進

Message board

- ・インカレの楽しさを味わい尽せ！ よこいち強い！ 7期 平松
- ・楽しみ尽くしてください！ 9期 田村
- ・一歩一歩全力で！ 4期 田中
- ・初めてのインカレでも最終学年でも考えることは一つだけ。最後までやり切ることに！ 7期 高橋
- ・全力を出し切って楽しんでください。ファイト！ 8期 古谷
- ・とにかく応援してます！ 3期 松尾
- ・楽しみ心を忘れずに！ 応援してます〜！！ 5期 水本
- ・インカレを楽しもう！ 10期 市川
- ・これまで積み重ねてきたものを信じて、最後まで走り切ってください。 2期 富家
- ・最後まで楽しんで、オリエンを！ 10期 室井
- ・焦らず、慌てず、諦めず。ラストまで全力で駆け抜けてください！ 5期 森田
- ・インカレを楽しんで！ 9期 鈴木
- ・さあ、勝負の時！「よこいち」らしく楽しんでいこう！ 10期 阿部

朱雀OKはインカレに出場する
みなさんを応援しています！



GO FOR IT! NUOC !!

インカレは楽しんだもん勝ち！最高の2日間にしてきてください！
OB1坂本

お前ならできる！！
OB1岩淵

レッツゴー新大！自分を信じて迷わず直進！大丈夫、仲間がいつでもさ！
OB2滝沢



なにもかもなんとかなれ！！
OB3山下

新大の底力見せつける！！
OB2鈴木

全力で！笑顔で！楽しんでー！
OB3外石

これまでの自分の努力を信じて、悔いの残らないレースにしてください
OB3池田

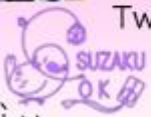
自分のレースも他の人の応援も全部全力で楽しんで下さい！！
OB1丸山

目指せ
"頂上 (Apex)"
〜加川E〜
OB1曲田

Twitter QRコード

新入会員募集中！

オリエン、遠征、飲み会、
各種イベントが好きな方は
お近くの部員がTwitterまで！！



頑張れ！茨大OLD！



選手権クラス出場
川崎陽暉 (31期)

この瞬間を楽しもう！

六国会は茨城大学OLDを応援しています。

健闘を祈る
広島大学オリエンテーリングクラブ
そして 広島県出身選手の皆さん

Fight 一戸厚志選手 加藤優拓選手 牧島凜平選手 高見綾花選手

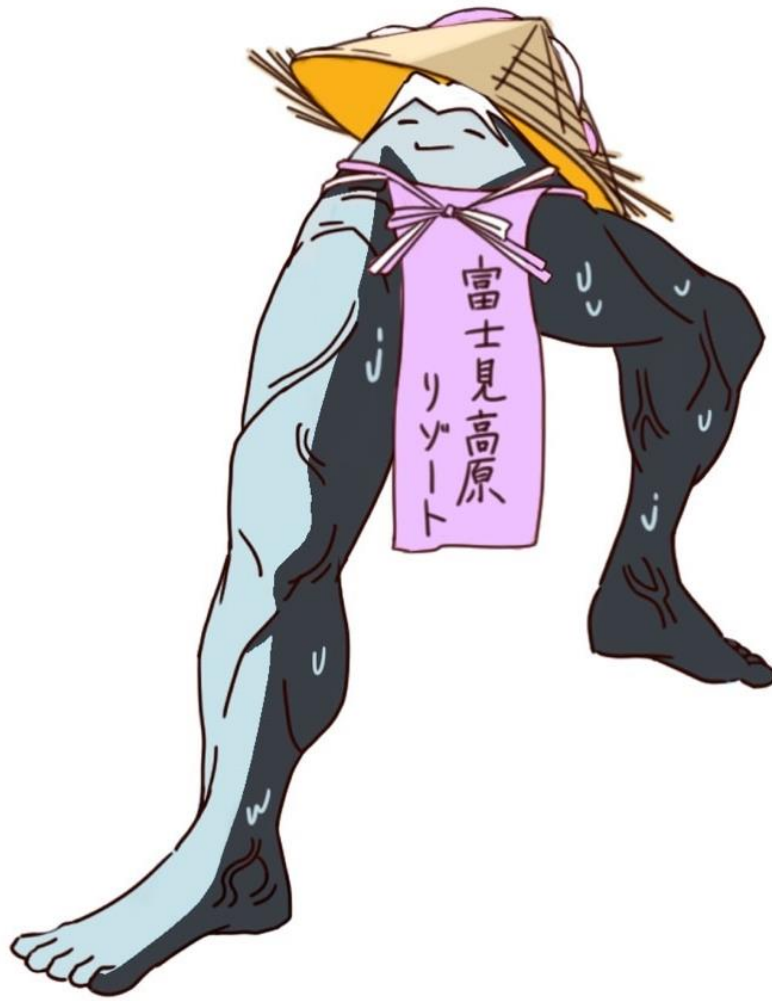
赤い稲妻 復活をかけて

広島県に戻ったら 広島オリエンテーリングクラブ で会いましょう
広島大学OLC OG

A group photo of the Hiroshima University Orienteering Club members and former athletes. They are posing outdoors in a park-like setting with trees and a path. The group is diverse in age and is wearing various casual clothing. The text is overlaid on the image in blue and white.



FORTE



大会公式キャラクター

「フジミくん」

作：八木橋まい・谷口恵祐

切り立った尾根を登っては、遠くの富士山を眩しそうに眺めている。

いっぱい走った後に足湯で全身を休めるのが不死身の秘訣。

2022年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
スプリント競技部門、ロング・ディスタンス競技部門
要項3.1

発行日：2022年10月28日

発行者：2022年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
スプリント競技部門 実行委員会

ロング・ディスタンス競技部門 実行委員会

発行責任者：生田 峻 (スプリント競技部門 実行委員長)

渡辺 鷹志 (ロング・ディスタンス競技部門 実行委員長)

編集責任者：山本 智士 (広報責任者)